

千葉県住宅・住環境を取り巻く動向

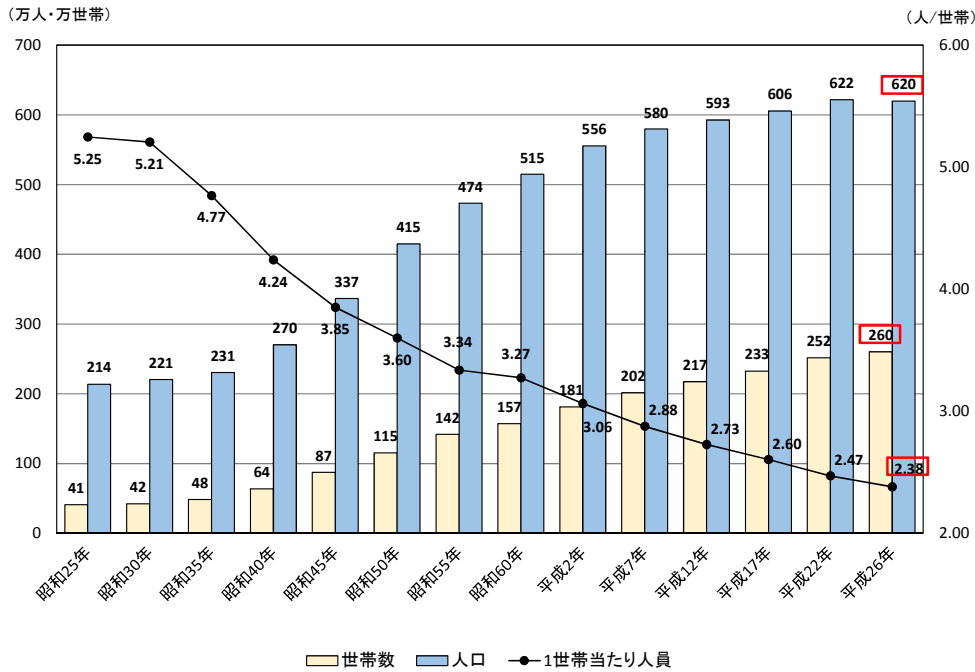
1. 人口・世帯の概況
2. 住宅事情
3. 住意識
4. 住宅市場の動向

1. 人口・世帯の概況

平成22年以降、人口は横ばい傾向

◇人口・世帯数は620万人・260万世帯、世帯人員は2.38人/世帯。（平成26年10月時点）

◇人口は平成22年をピークに横ばい傾向。世帯数は緩やかな増加傾向。



人口、世帯数、平均世帯人員の推移(千葉県)

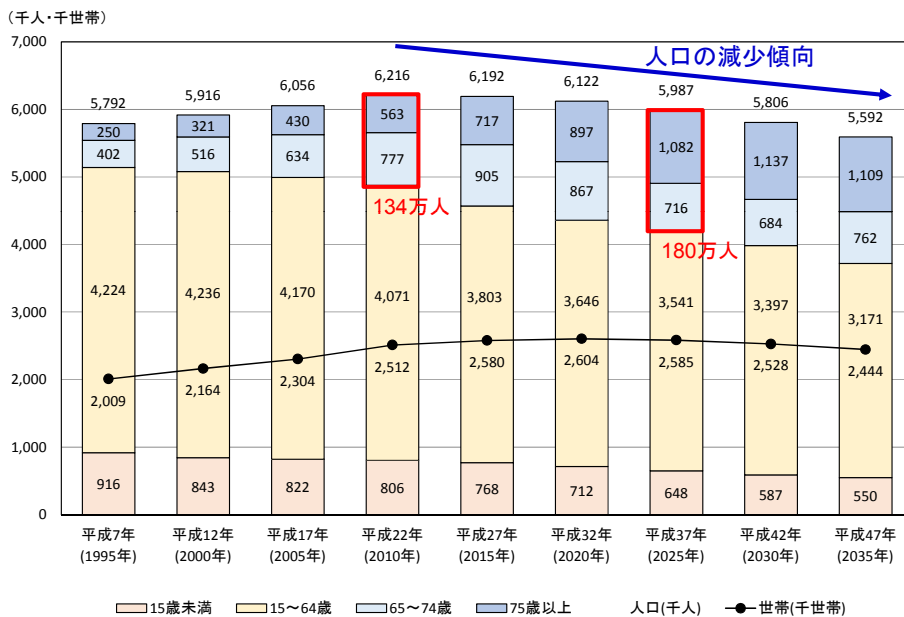
出典：国勢調査（昭和25年～平成22年）、住民基本台帳（平成26年10月1日）

将来人口は、平成37年に599万人まで減少

◇人口は、平成22年の622万人をピークに減少に転じ、平成37年には599万人。

◇世帯数は、平成32年の260万世帯をピークに、横ばいから減少に転じる。

◇高齢者は、134万人(平成22年)から180万人(平成37年)と1.3倍に増加。

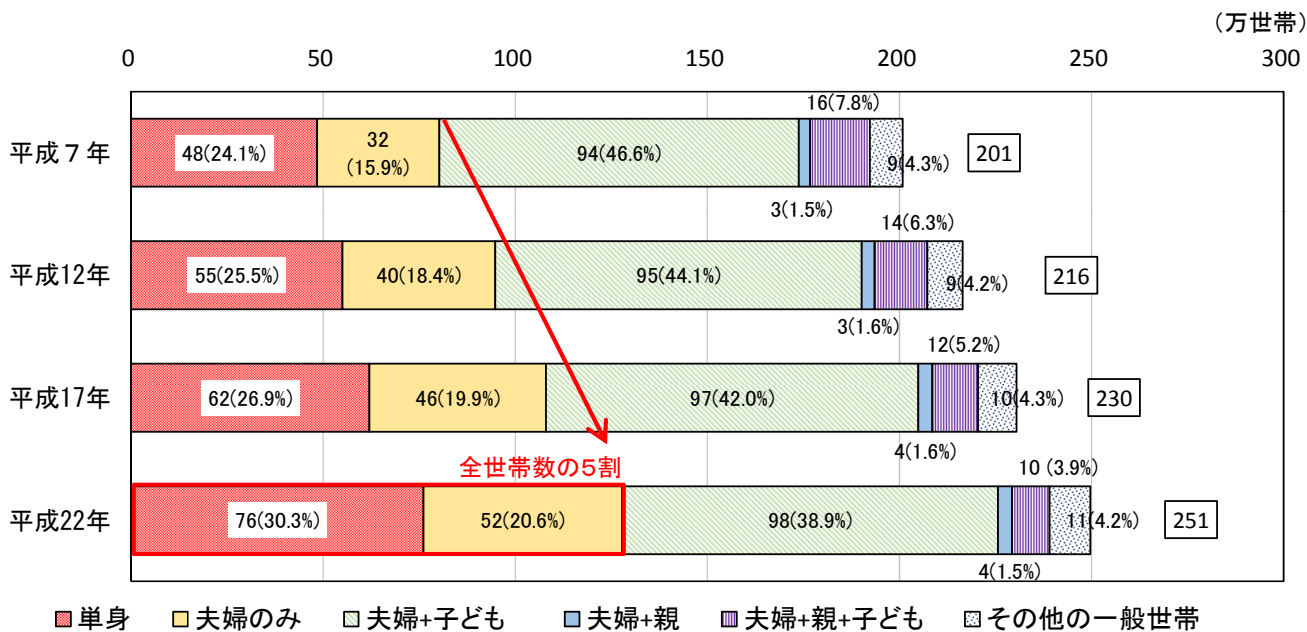


将来人口・世帯数、平均世帯人員の推移(千葉県)

出典：国勢調査（平成7年～平成22年）
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」
 「日本の世帯数の将来推計（平成26年4月推計）」（平成27年～平成47年）

単身世帯、夫婦のみ世帯の増加

- ◇単身世帯、夫婦のみ世帯が、実数・割合ともに増加。
- ◇平成22年には、単身世帯が3割、夫婦のみ世帯が2割と、全世帯数の5割を占める。
- ◇夫婦+子どもの世帯も微増しているが、全世帯数に占める割合は減少。

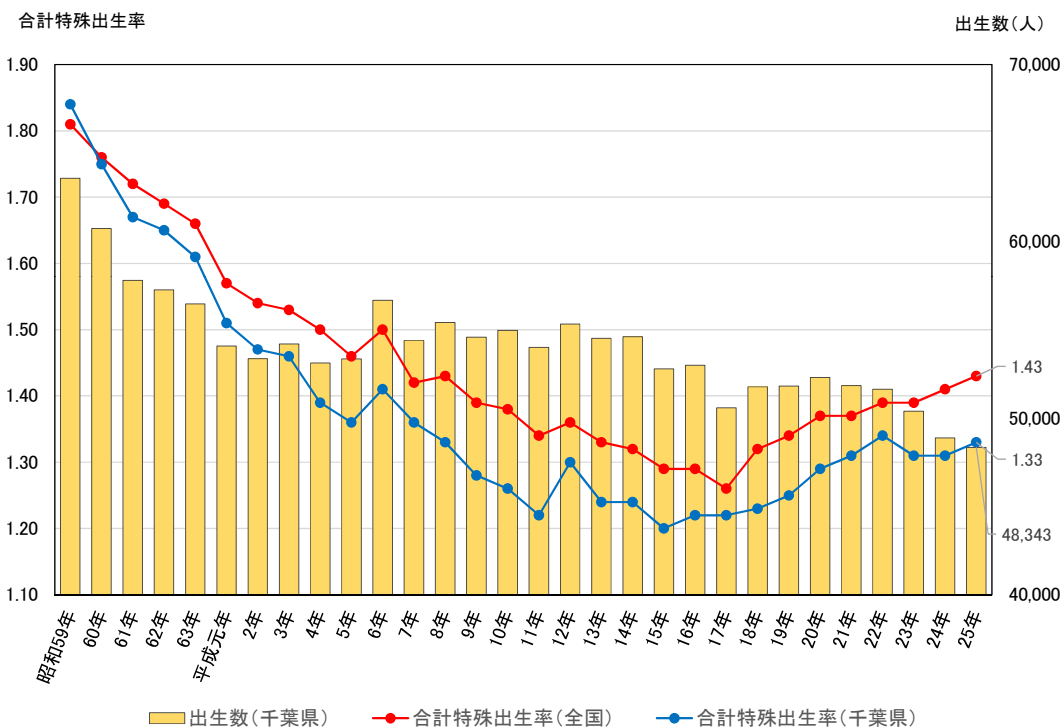


世帯類型別世帯数の推移(千葉県)

出典: 国勢調査(平成7年~平成22年)

全国値を下回る出生率

- ◇千葉県の合計特殊出生率は、昭和60年以降、全国値を常に下回る値で推移。
- ◇出生数は平成25年に4.8千人。減少傾向が続く。



出生数と合計特殊出生率の推移(昭和59年~平成25年度)(千葉県・全国)

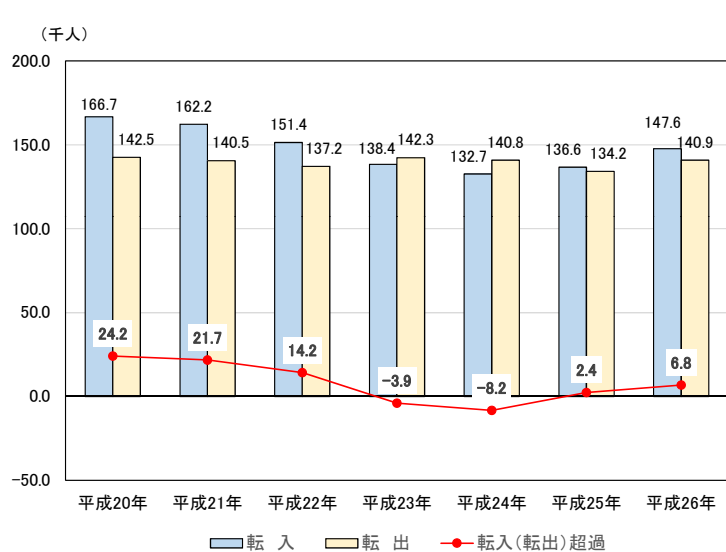
出典: 厚生労働省推計(昭和59年~平成25年)

15～24歳は転入超過、25～29歳で転出超過

◇近年は、転入・転出が同程度で推移している。

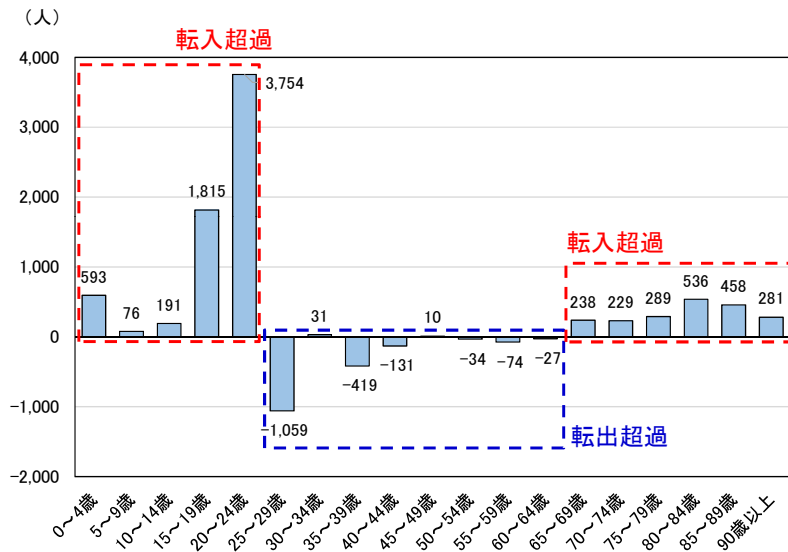
◇24歳以下、65歳以上は転入超過。15～24歳以下の転入超過が顕著であり、進学・就職等に伴う転入と推認。

◇25～64歳は概ね転出超過。25～29歳の転出超過が顕著であり、就職・結婚等に伴う転出と推認。



転入・転出者数の推移(千葉県)

出典: 総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告年報」(平成20年～平成26年)

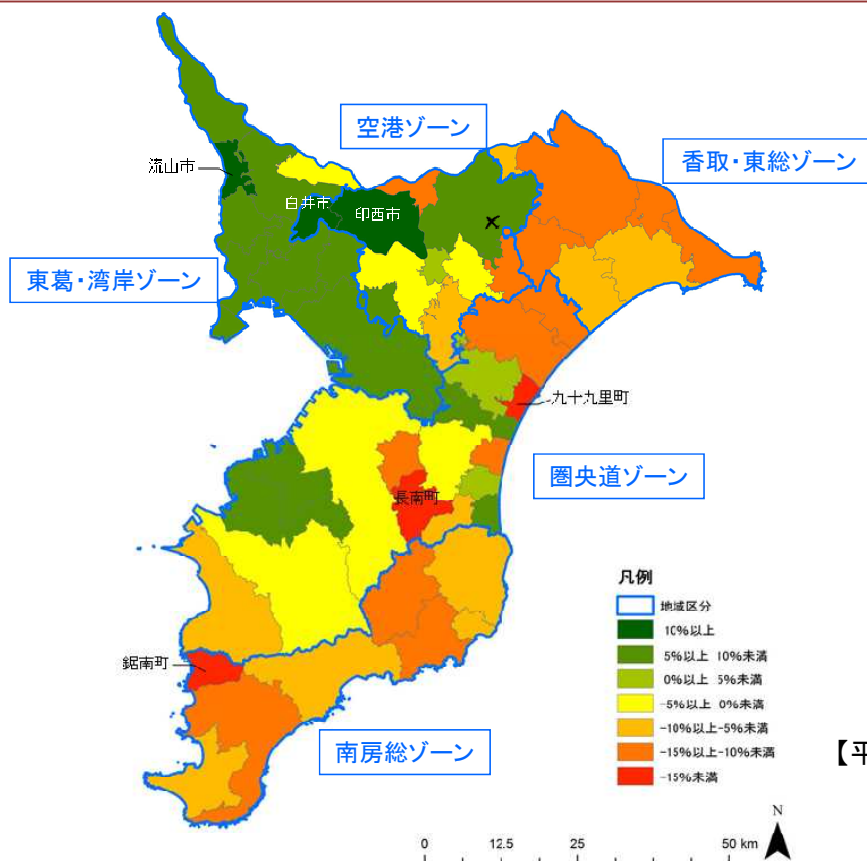


年齢階層別転入(転出)超過の状況(平成26年・千葉県)

出典: 総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告年報」(平成26年)

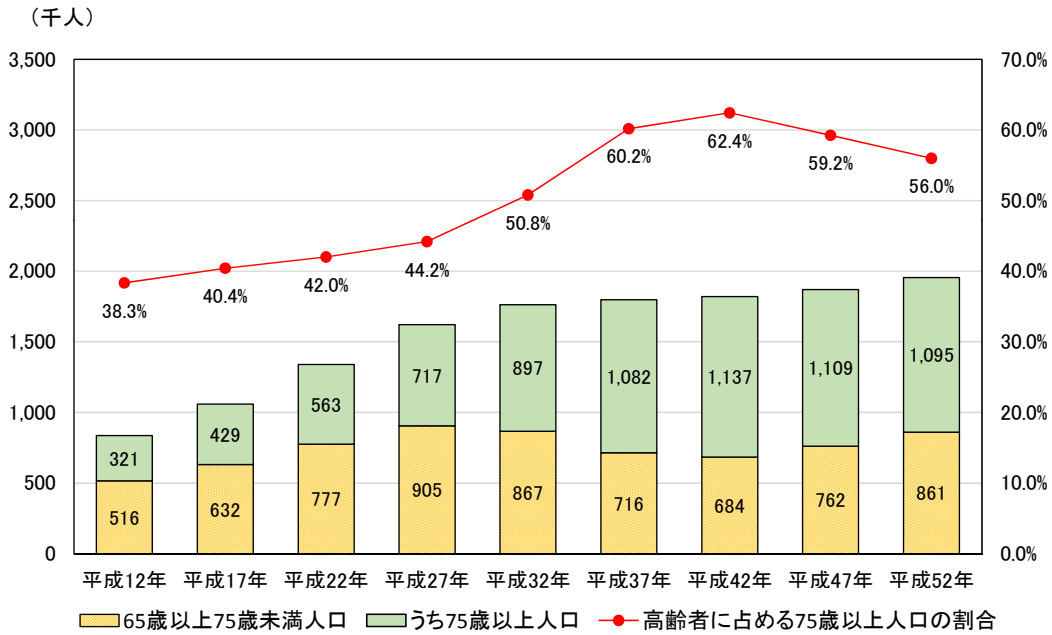
県南・県東部で人口減少、過疎化が進行

◇南房総ゾーン、香取・東総ゾーン、圏央道ゾーンなど、県南・県東部で人口減少が続いており、過疎化が進行。



高齢者、後期高齢者の増加

◇高齢者人口は、平成32年頃まで急増し、それ以降は緩やかな増加傾向。
 ◇75歳以上の後期高齢者は、平成22年の56万人から、ピーク時の平成47年には114万人と2倍に増加。
 ◇高齢者人口のうち後期高齢者の占める割合は、ピーク時の平成47年には62.4%に上る。

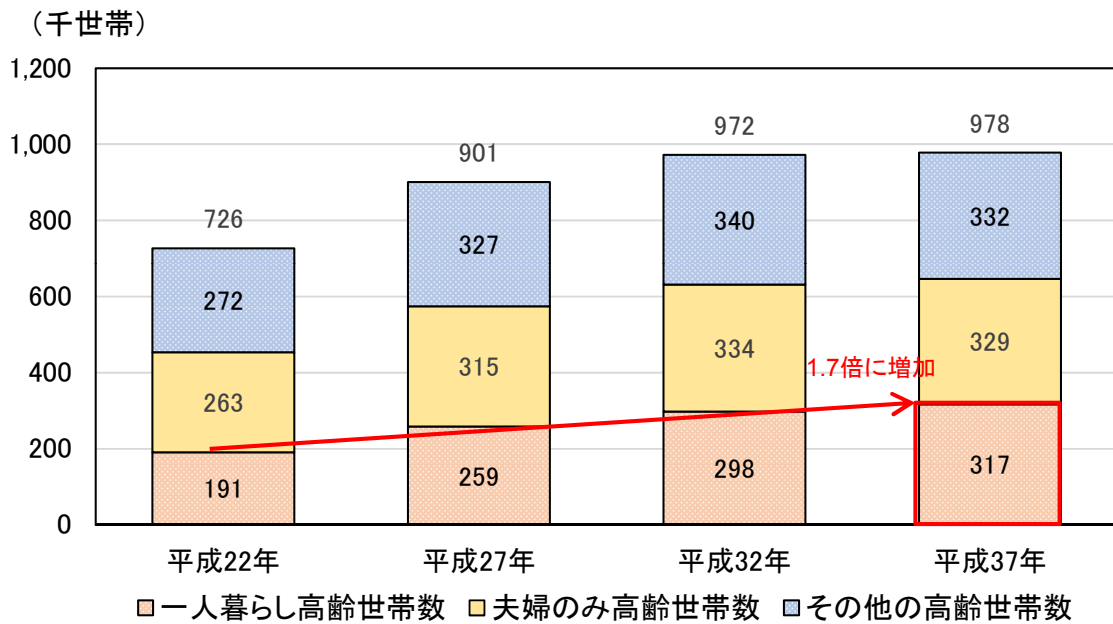


高齢者数(65歳以上及び75歳以上人口)の推移と将来推計(千葉県)

出典: 国勢調査(平成12年~22年)
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」、「日本の世帯数の将来推計(平成26年4月推計)」、「平成27年~平成47年」

単身高齢者世帯の増加

◇1人暮らし高齢者世帯数の増加が続き、平成22年の191千世帯から平成37年には317千世帯(約1.7倍)に増加。

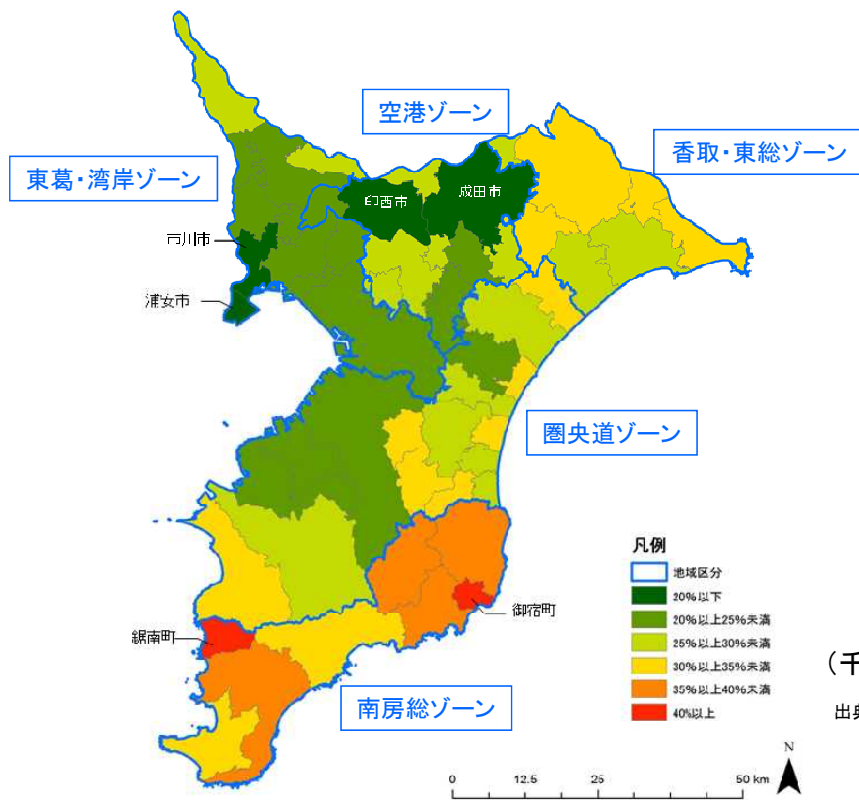


高齢世帯の世帯類型別世帯数の推移と将来推計(千葉県)

出典: 千葉県高齢者保健福祉計画(平成24年度~平成26年度)
 ※平成22年(2010年)以前は総務省統計局「国勢調査結果」
 平成27年(2015年)以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)」、「平成26年(2014年)4月推計」

県南・県東部で高齢化が進行

◇南房総ゾーン、香取・東総ゾーンなどの県南・県東部の市町村において、とくに高齢化が進行。



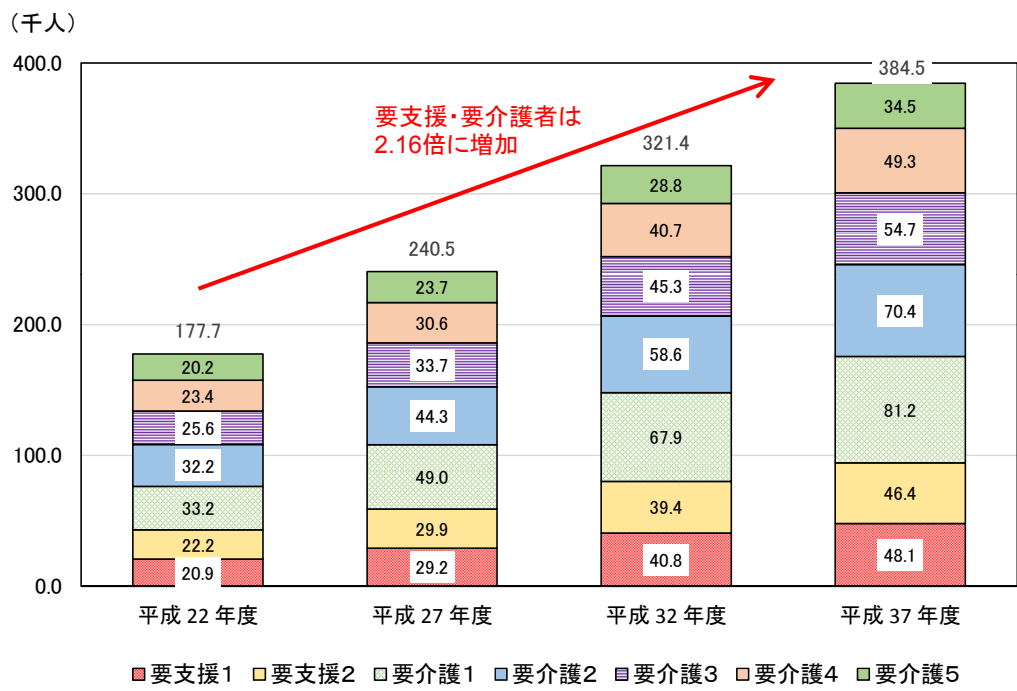
市町村別高齢化率の状況
(千葉県) 平成26年4月1日現在

出典：県統計課「千葉県年齢別・町丁字別人口」(平成26年)をもとに作成。人口は、住民基本台帳法に基づき住民票に記載された者。

要支援・要介護認定者の増加

◇要支援及び要介護認定者数は178千人。(平成22年度)

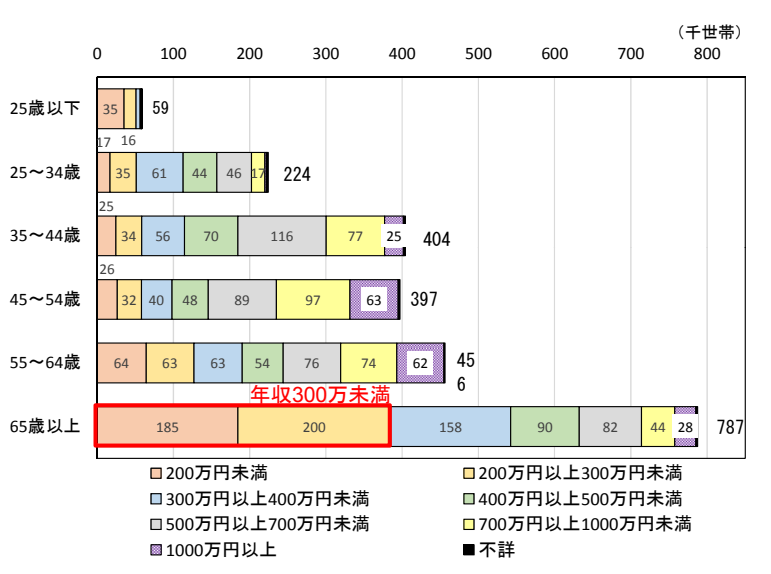
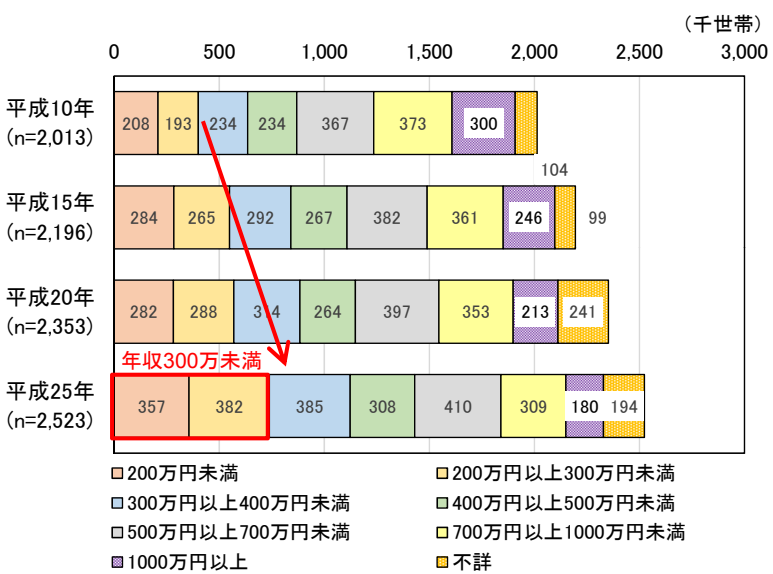
◇将来の要支援及び要介護認定者数は、平成37年度には385千人と推計。平成22年度の2.16倍に増加。



要介護認定者数の推移と将来推計(千葉県)

出典：千葉県高齢者保健福祉計画(平成27年度～平成29年度)

◇年収300万円未満の世帯が増加傾向。平成25年時点で全世帯の3割を占める。
 ◇世帯主年齢が65歳以上の世帯に、年収300万円未満の世帯の5割が集中。



世帯年収の推移 (世帯数・千葉県)

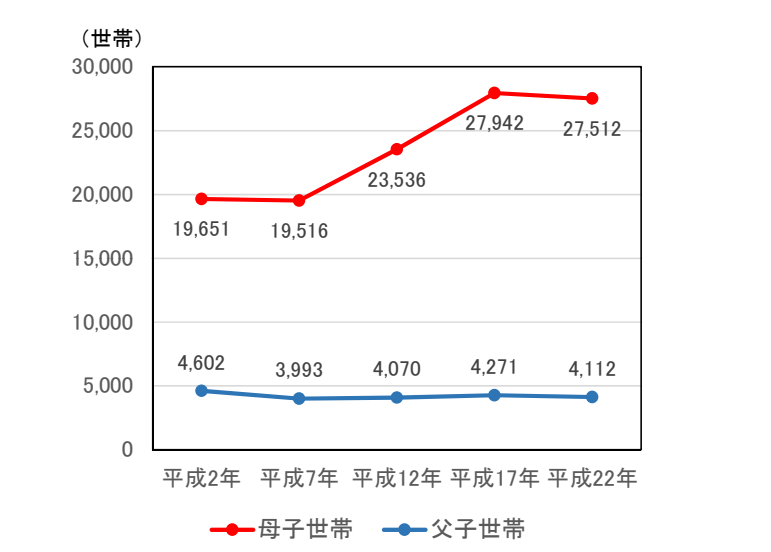
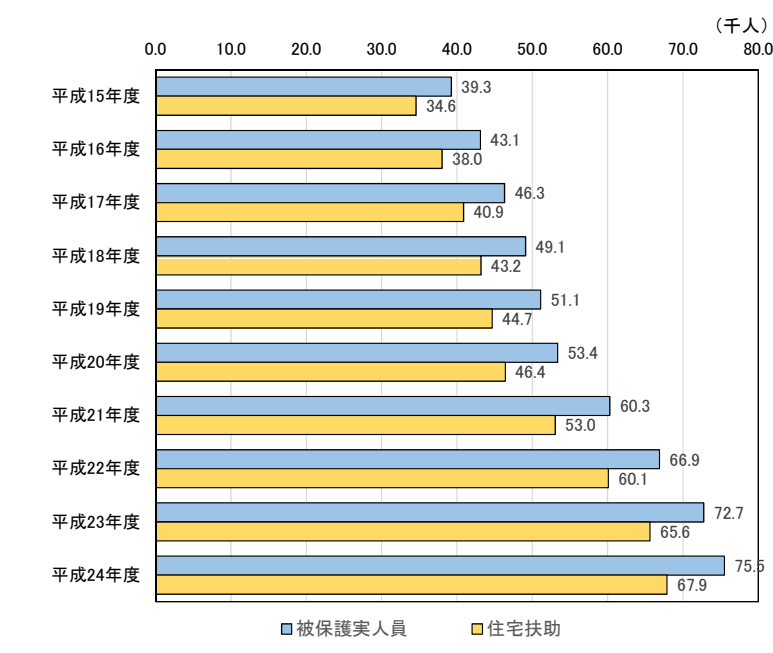
出典: 住宅・土地統計調査 (平成10年~平成25年)

世帯主年齢別世帯年収 (千葉県)

出典: 住宅・土地統計調査 (平成25年)

増加する住宅確保要配慮者世帯 (生活保護、母子・父子世帯)

◇生活保護・住宅扶助人員数ともに増加傾向。平成24年度では生活保護人員75.5千人、住宅扶助人員67.9千人。
 ◇母子・父子世帯は、3.2千世帯 (平成22年)。母子世帯が平成7~17年で急増。



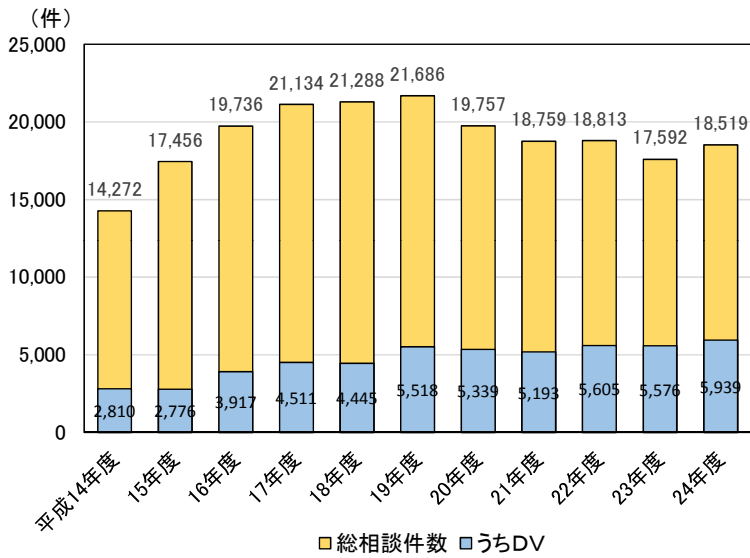
母子世帯・父子世帯の推移 (千葉県)

出典: 国勢調査 (平成2年~平成22年)

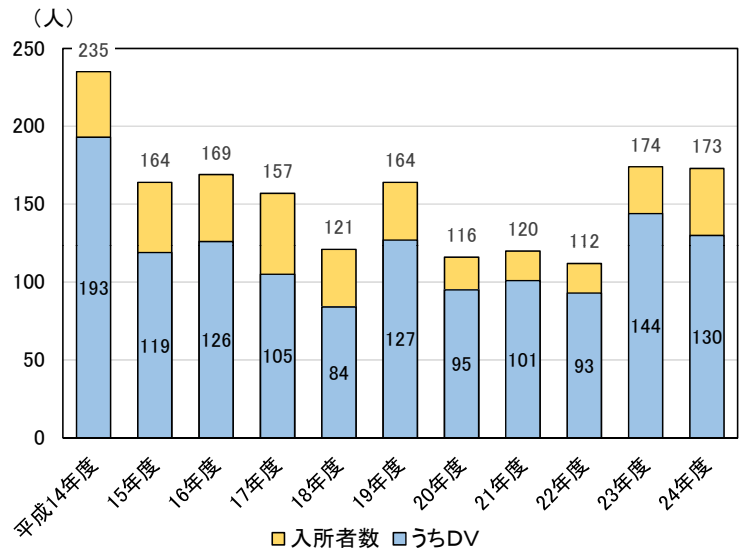
生活保護・住宅扶助人員数の推移 (千葉県)

出典: 千葉県健康福祉部健康福祉指導課 (平成15年度~平成24年度)

◇配偶者暴力相談センターへの相談件数のうち、DV(ドメスティックバイオレンス)関連は約6千件(平成24年度)。
 ◇女性サポートセンター入所者数のうち、3/4がDVを原因とする入所者である(平成24年度)。



配偶者暴力相談支援センターの相談件数の推移(千葉県)



千葉県女性サポートセンターの入所者数の推移(千葉県)

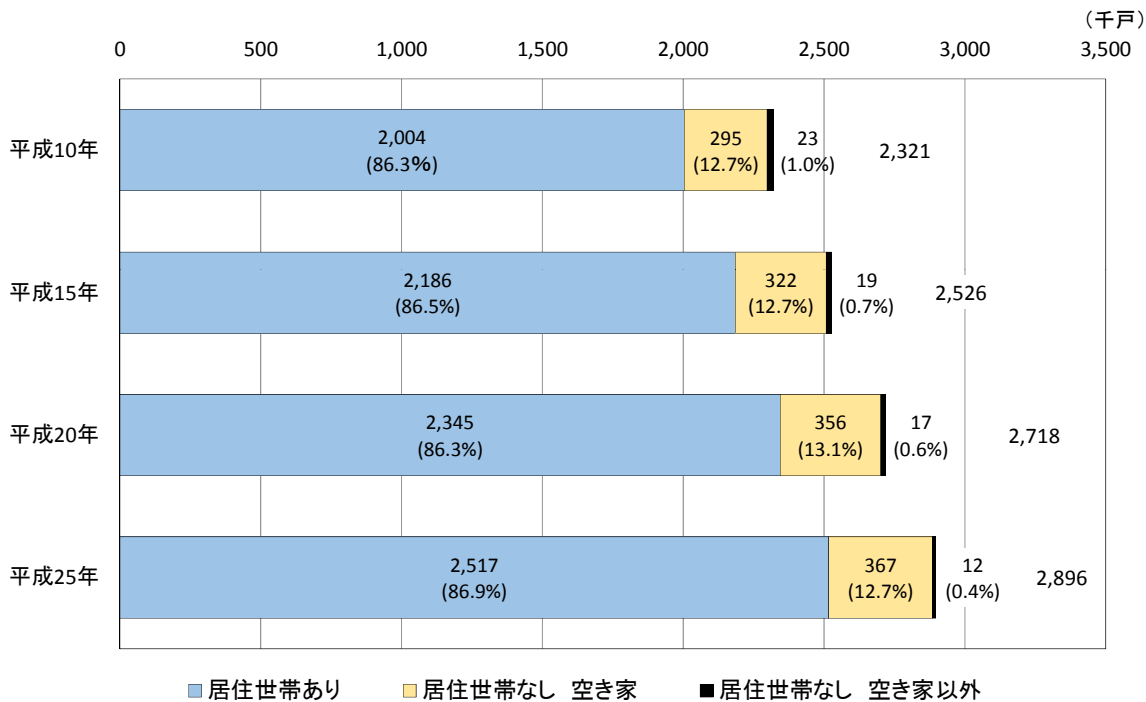
出典:千葉県健康福祉部健康福祉指導課(平成14年度~平成24年度)

2. 住宅事情

2-1. 住宅ストック

住宅総数、空き家数ともに増加傾向

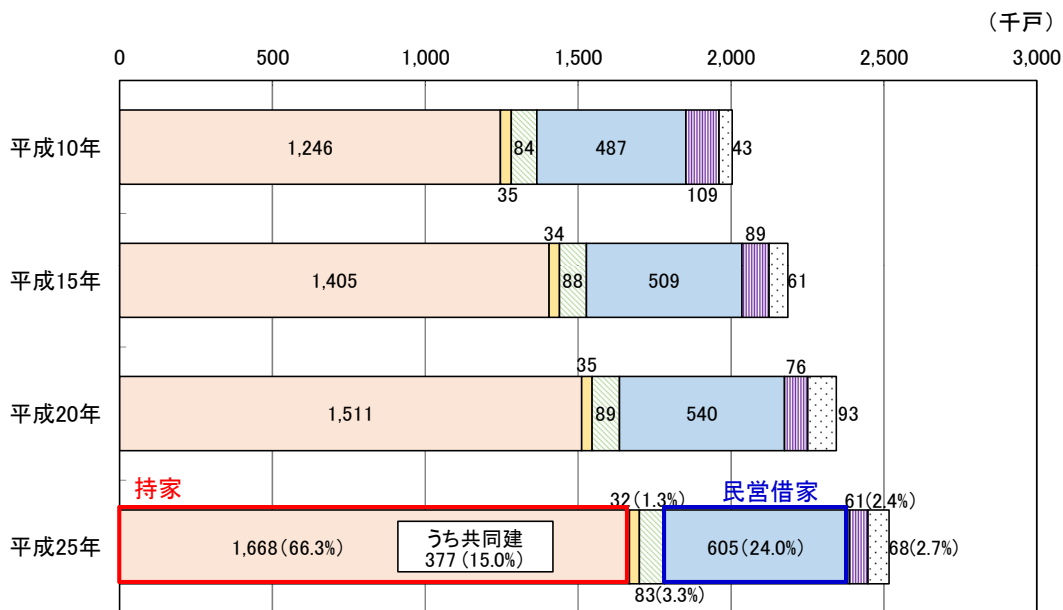
◇住宅総数は2,896千戸(平成25年)。平成10年以降増加が続いている。
 ◇住宅総数のうち「空き家」が367千戸、住宅総数の12.7%を占めており、空き家数は増加傾向にある。



住宅総数の推移(千葉県)
 出典:住宅・土地統計調査(平成10年~平成25年)

持家、民営借家の住宅数が増加

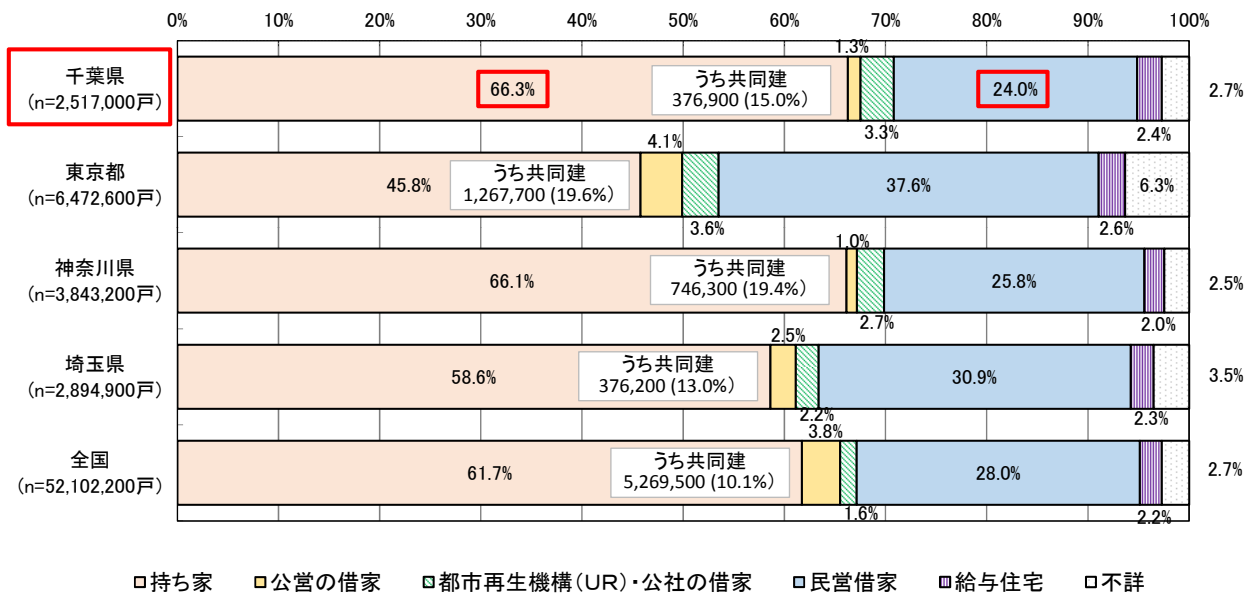
◇持家と民営借家が増加傾向。持家(66.3%)、民営借家(24.0%)で住宅総数の9割を占める。
 ◇分譲マンション(持家で共同住宅(3階以上))は住宅総数の15%程度。



所有関係別住宅数の推移(千葉県)
 出典:住宅・土地統計調査(平成10年~平成25年)
 ※持ち家の共同建には階数1~2階建を含んでいない

千葉県は持家率(戸建住宅率)が比較的高い

◇全国及び一都三県と比較すると、千葉県は持家率(戸建住宅率)が比較的高く、民営借家の割合が低い。



※持ち家の共同建には階数1~2階建を含んでいない

住宅の所有関係別割合(一都三県・全国)

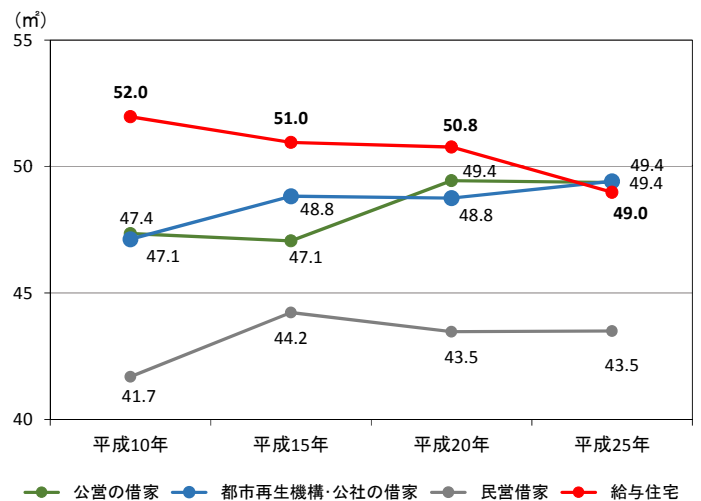
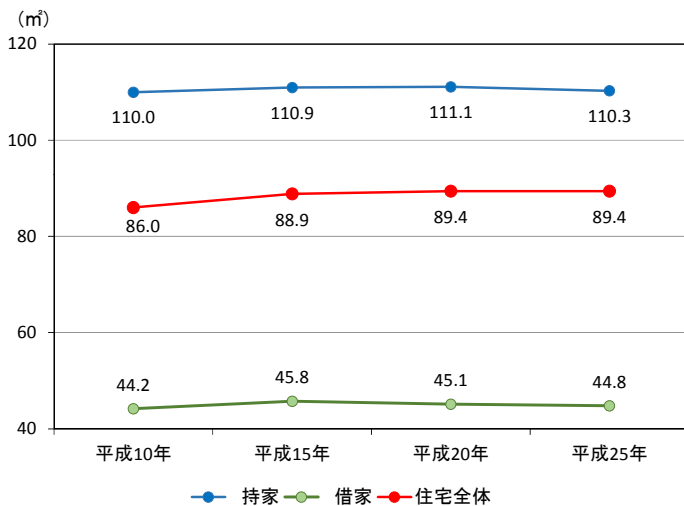
出典:住宅・土地統計調査(平成25年)

住宅の延べ面積は、概ね横ばい傾向で推移

◇住宅の延べ面積は、住宅全体で89.4㎡。所有関係別では持家110㎡、借家44.8㎡(平成25年)。

◇延べ面積は、概ね横ばい傾向で推移。

◇公営借家や都市再生機構・公社の借家では、建替え事業等に伴い延べ面積増加。民営借家は横ばい。



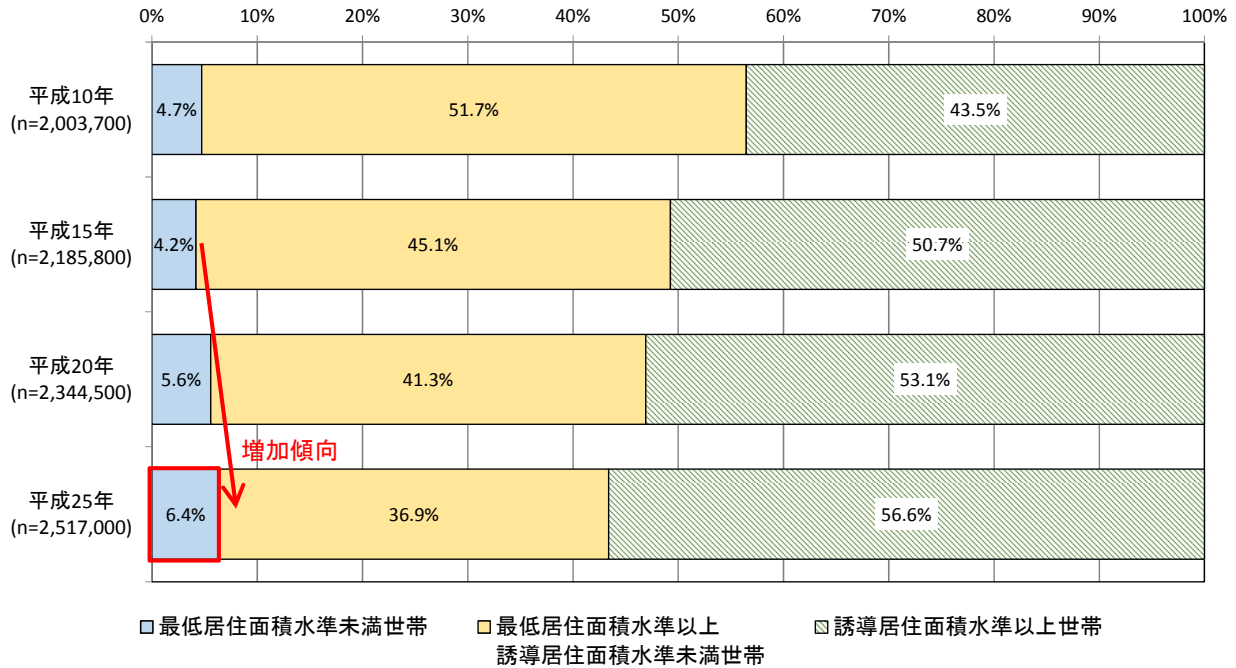
所有関係別一住宅当たり延べ面積の推移(千葉県)

借家の種類別一住宅当たり延べ面積の推移(千葉県)

出典:住宅・土地統計調査(平成10年~平成25年)

最低居住面積水準未満世帯率の増加

- ◇平成15年以降、最低居住面積水準未満世帯率が増加（平成25年時点で6.4%）。
- ◇一方で、誘導居住面積水準以上世帯率は着実に増加（平成25年時点で56.6%）。



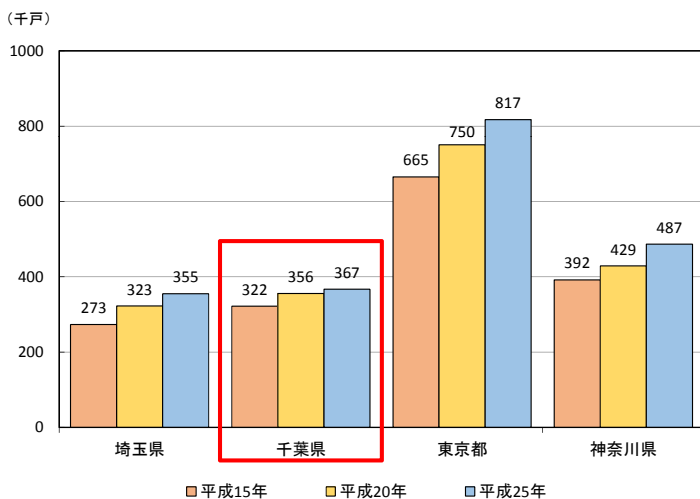
居住面積水準の推移(千葉県)

出典:住宅・土地統計調査(平成10~25年)

空き家数の増加

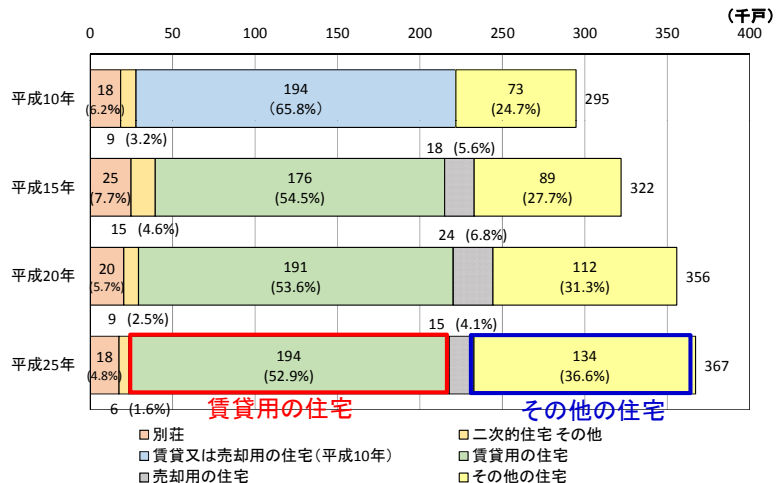
- ◇千葉県の空き家数は367千戸（平成25年）、県全体として空き家数は増加傾向。
- ◇空き家のうち、最も多いのは「賃貸用の住宅」（52.9%）であり、その戸数は増加傾向。
- 次いで「その他の住宅」（36.6%）が多く、その戸数、空き家全体に占める割合ともに増加傾向。

*「その他の住宅」とは、世帯が長期にわたって不在の住宅、建て替えのために取り壊すこととなっている住宅など



空き家数の推移(一都三県)

出典:住宅・土地統計調査(平成15年~平成25年)

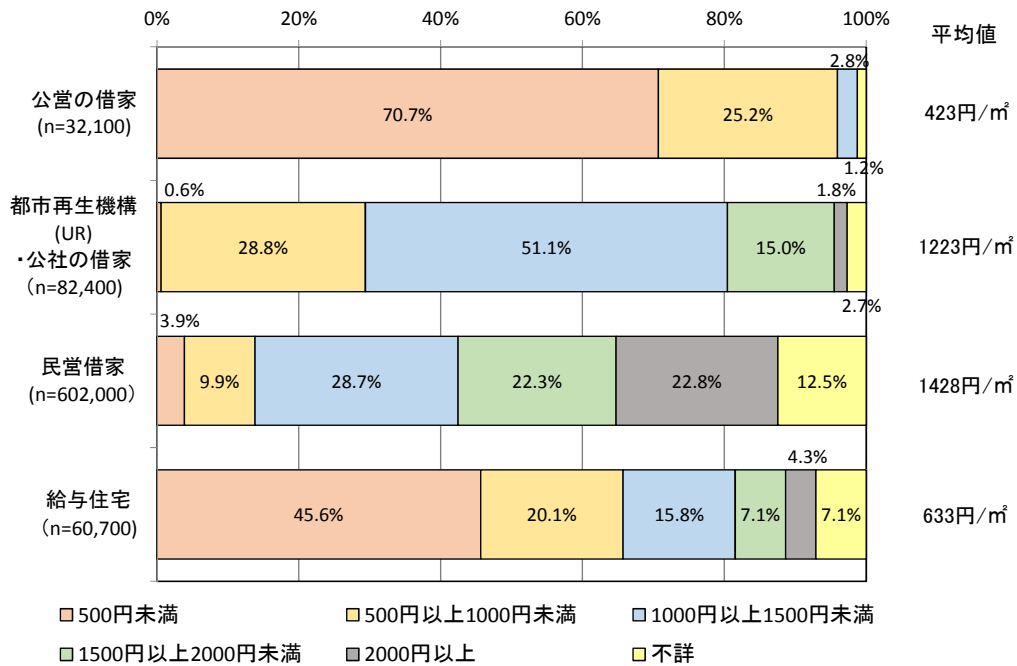


空き家の種類別住宅数・割合の推移(千葉県)

出典:住宅・土地統計調査(平成10~25年)

民営借家の平均家賃は、公営借家の3倍超

- ◇公営借家の1㎡あたりの平均家賃は423円/㎡、500円/㎡までが70%、1,000円/㎡までが95%を占める。
- ◇それに対し、民営借家の1㎡あたりの平均家賃は1,428円/㎡(公営借家の3.4倍)。
- ◇UR・公社の借家の1㎡あたりの平均家賃は1,223円/㎡(公営借家の2.9倍)、1,000円/㎡までの住戸が3割を占める。

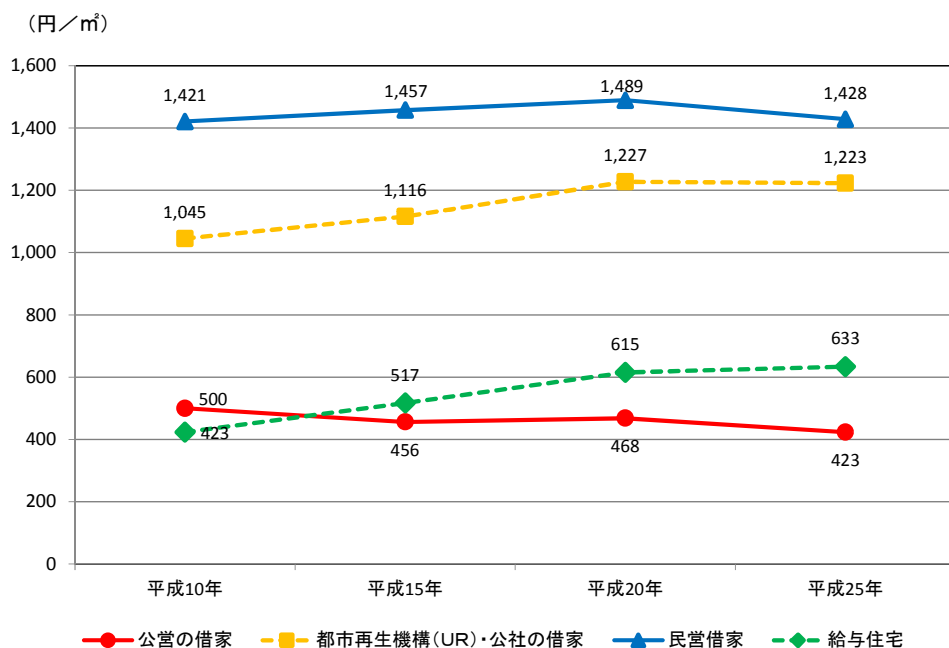


所有関係別家賃単価の状況(延べ面積1㎡当たり家賃)(千葉県)

出典:住宅・土地統計調査(平成25年)

公営借家と民営借家の家賃負担率の格差が大きい

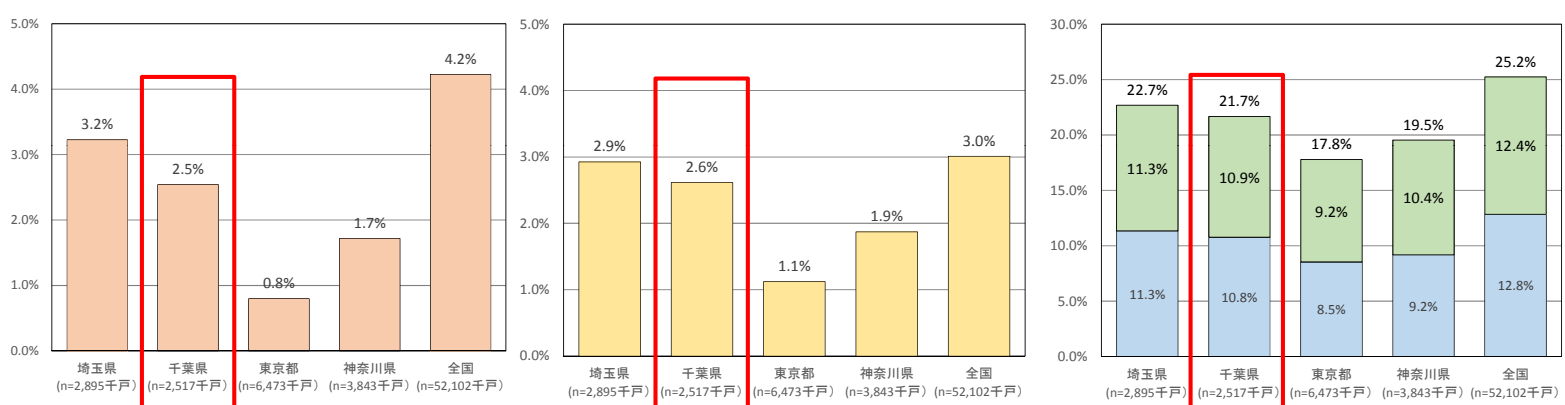
- ◇公営借家を除き、平成10～20年にかけて1㎡あたりの平均家賃(家賃単価)が上昇。平成20～25年では下落又は横ばい。
- ◇民営借家の1㎡あたりの平均家賃(家賃単価)は1,428円/㎡(公営借家の3.4倍)。家賃負担率の格差が大きい。



賃貸住宅の家賃単価の推移(千葉県)

出典:住宅・土地統計調査(平成10年～平成25年)

◇省エネルギー設備の設置率は全国平均を下回るが、一都三県では埼玉県に続いて設置率が高い。



太陽熱を利用した温水機器等の設置率 (一都三県・全国)

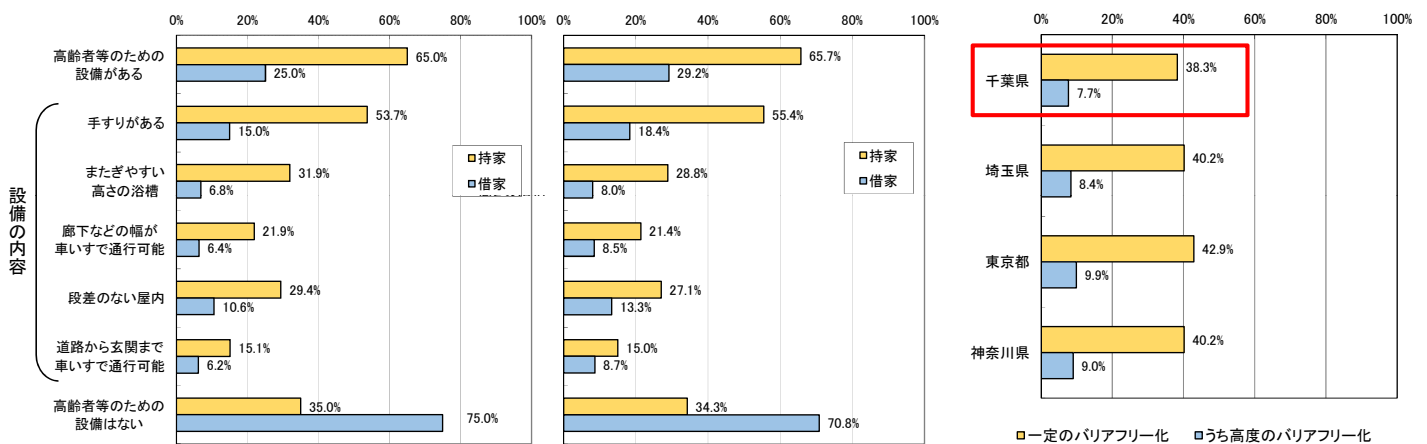
太陽光を利用した発電機器等の設置率 (一都三県・全国)

二重サッシ又は複層ガラスの窓の設置状況 (一都三県・全国)

※各母数 (n) は設置状況「不詳」を除いた値を用いている。

出典: 住宅・土地統計調査 (平成25年)

◇高齢者等のための設備の設置率は、持家65% (全国65.7%)、借家25% (全国29.2%)。借家の水準が低い。
 ◇バリアフリー化された住宅の割合は、持家で4割弱、借家では1割に満たず、一都三県で最も低い。



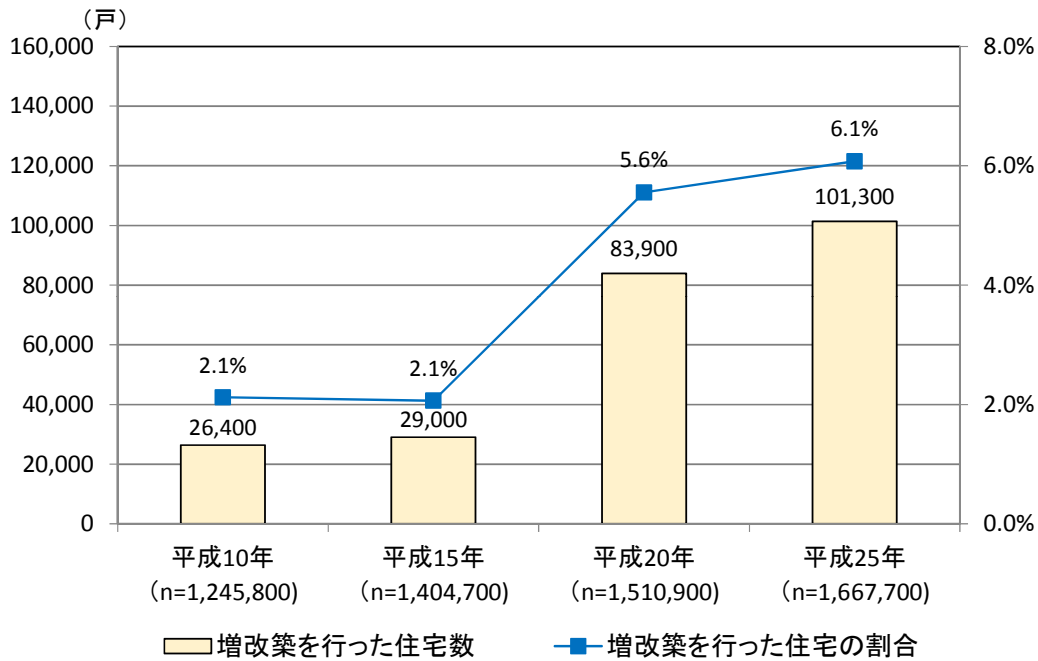
高齢者のための設備状況 (千葉県)

高齢者のための設備状況 (全国)

バリアフリー化された住宅の割合 (一都三県)

出典: 住宅・土地統計調査 (平成25年)

◇増改築を行った持家の住宅数は、平成20年8.4万棟、平成25年10.1万棟と、平成15年以前の2万棟台から急増。



1年間に増改築を行った持家住宅数の推移(千葉県)

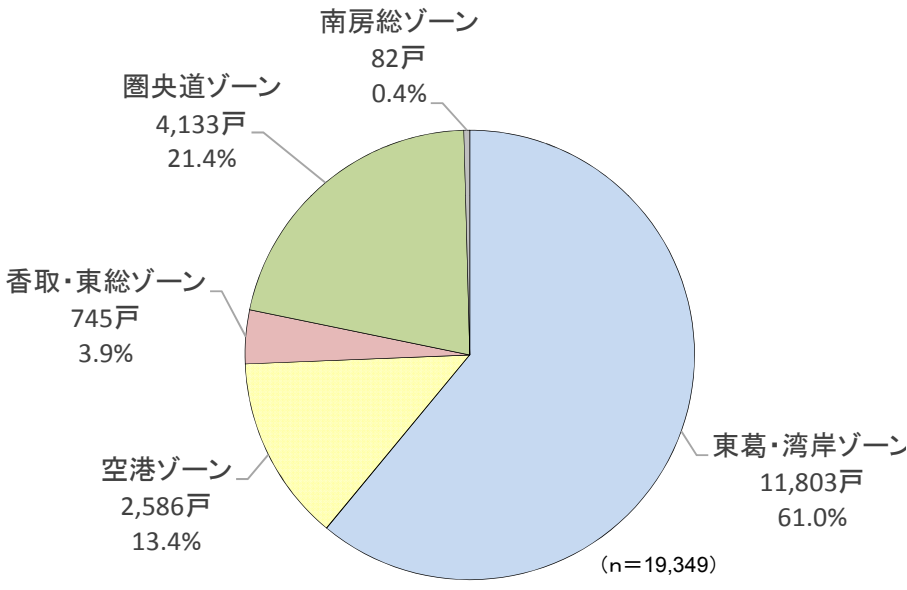
出典:住宅・土地統計調査(平成10年~平成25年)

2. 住宅事情

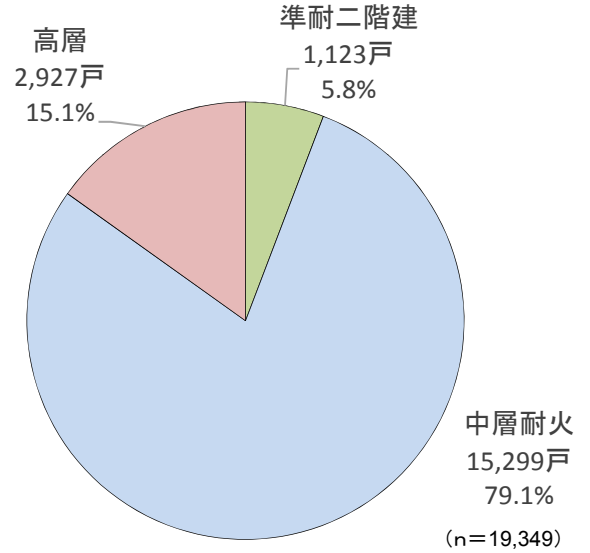
2-2. 公的賃貸住宅

◇県営住宅は、19,349戸（平成26年3月時点）。うち中層耐火が8割を占める。

◇東葛・湾岸ゾーンが11,803戸、全体の6割超を占める。次いで圏央道ゾーン（21.4%）、空港ゾーン（13.4%）に立地している。



ゾーン別の県営住宅数(千葉県)



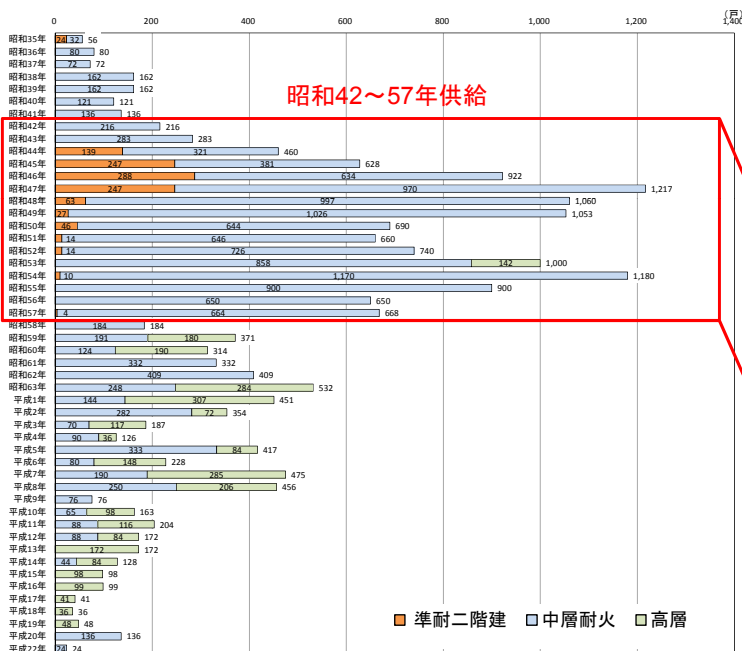
構造別の県営住宅数(千葉県)

出典：千葉県の住宅2014 千葉県県営住宅一覧(平成26年3月31日時点)

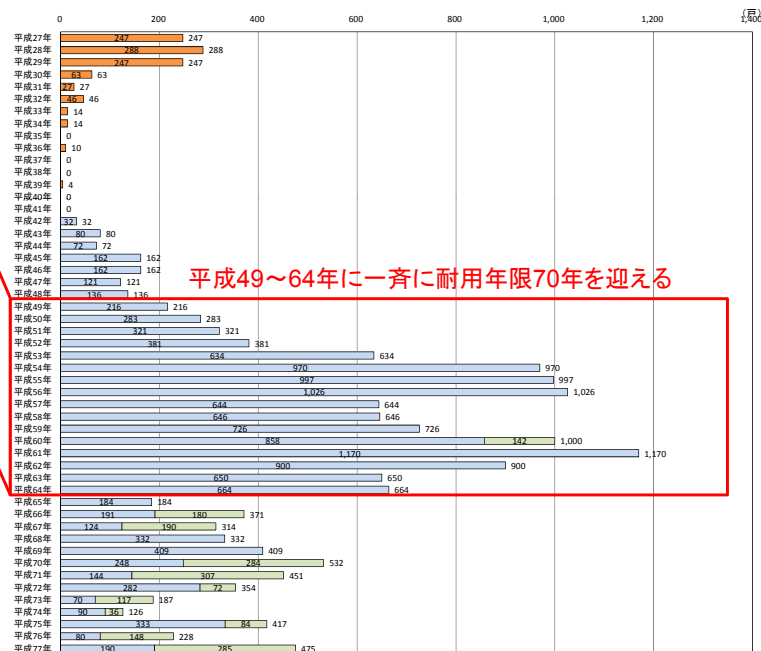
平成50～60年代に耐用年限を迎える県営住宅が多い

◇昭和40年代中頃～昭和50年代に年間600～1,200戸の供給。これらは平成50～60年代に耐用年限を迎える。

◇千葉県県営住宅長寿命化計画では、耐用年限までの使用を基本とするが、原則築年(経過年数)に応じて修繕、改善、建替、廃止の判断を行うものとしている。



建築年次別の県営住宅数の推移(千葉県)



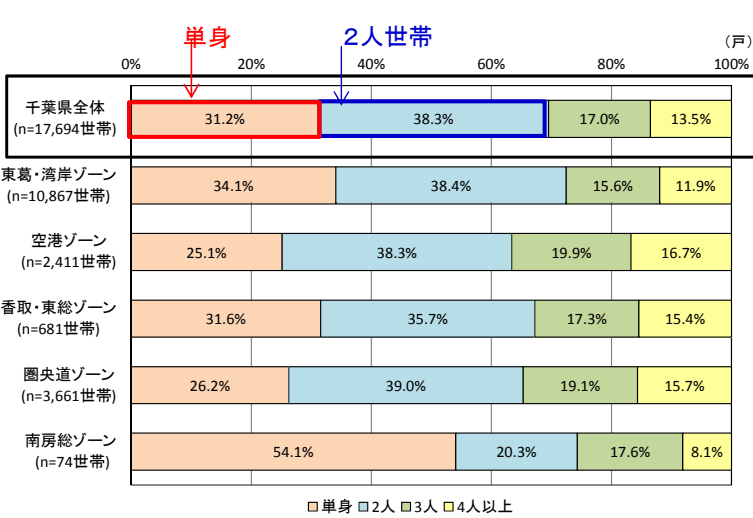
耐用年限を迎える県営住宅数の推移(千葉県)

出典：千葉県の住宅2014 千葉県県営住宅一覧(平成26年3月31日時点)

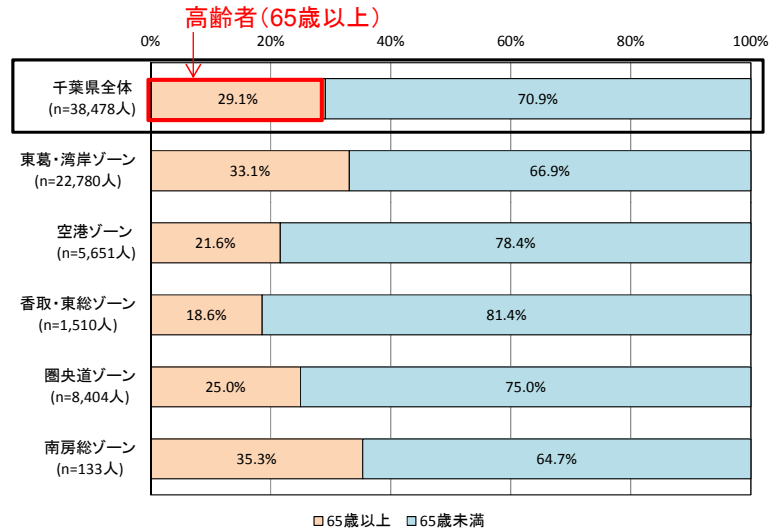
◇県営住宅の入居世帯は17,694世帯、入居者は38,478人(平成27年1月)。

◇家族人数は、単身31.2%、2人38.3%、あわせて7割を占める。

◇入居者のうち高齢者の占める割合は29.1%であり、入居者の3人に1人は高齢者。



ゾーン別の入居世帯の家族人数(千葉県)



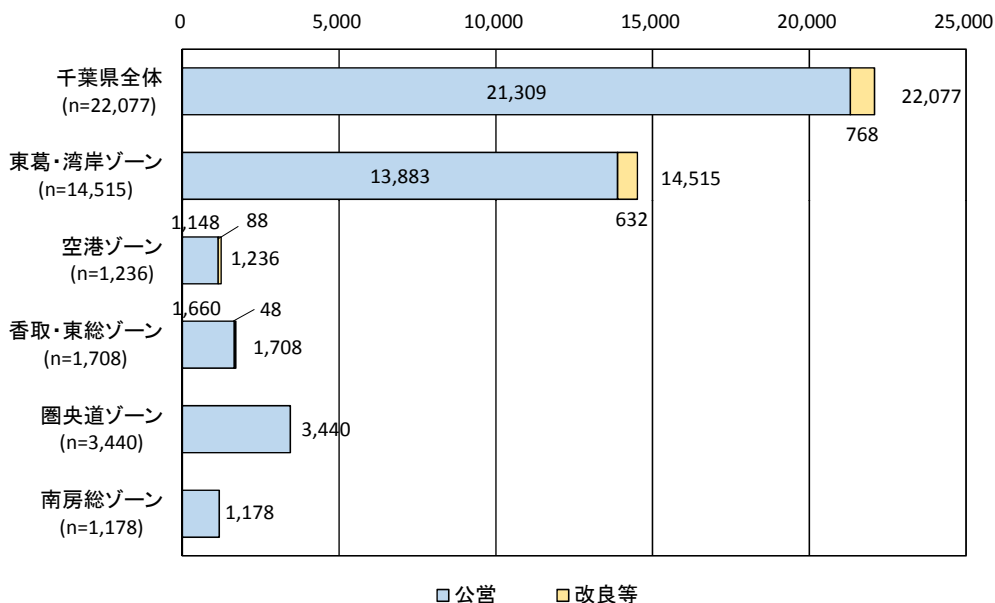
入居者のうち高齢者の占める割合(千葉県)

出典: 千葉県資料(平成27年1月5日時点)

市町村営住宅は「東葛・湾岸ゾーン」を中心に供給

◇千葉県内の市町村営住宅は、22,077戸(平成26年3月時点)。うち公営住宅が21,309戸、改良住宅が768戸。

◇「東葛・湾岸ゾーン」が14,515戸、全体の6割超を占める。



市町村営住宅(公営・改良等)

出典: 千葉県の住宅2014 千葉県市町村営住宅一覧(平成26年3月31日時点)

- ◇都市再生機構賃貸住宅は、114団地、89,180戸（平成25年末）。一団地の平均戸数782戸。
- ◇昭和55年以前に供給されたストックが多く、8割弱を占めている。（1団地の平均戸数1,386戸）

管理開始年度別の都市再生機構賃貸住宅の団地数及び管理戸数(千葉県)

管理開始年度	団地数	管理戸数	
昭和45年度以前	20	37,620	42.2%
昭和46～55年度	30	31,682	35.5%
昭和56～平成2年度	22	5,757	6.5%
平成13～17年度	8	2,671	5.3%
平成18～22年度	3	1,790	5.5%
平成3～7年度	16	4,717	3.0%
平成8～12年度	15	4,943	2.0%
合計	114	89,180	100.0%

出典：UR賃貸住宅ストック 個別団地類型(案)一覧(平成25年末時点)

公社賃貸住宅は4団地、1,072戸

- ◇公社賃貸住宅は4団地、1,072戸（平成26年3月時点）。
- ◇4団地ともに昭和40年代に事業開始。

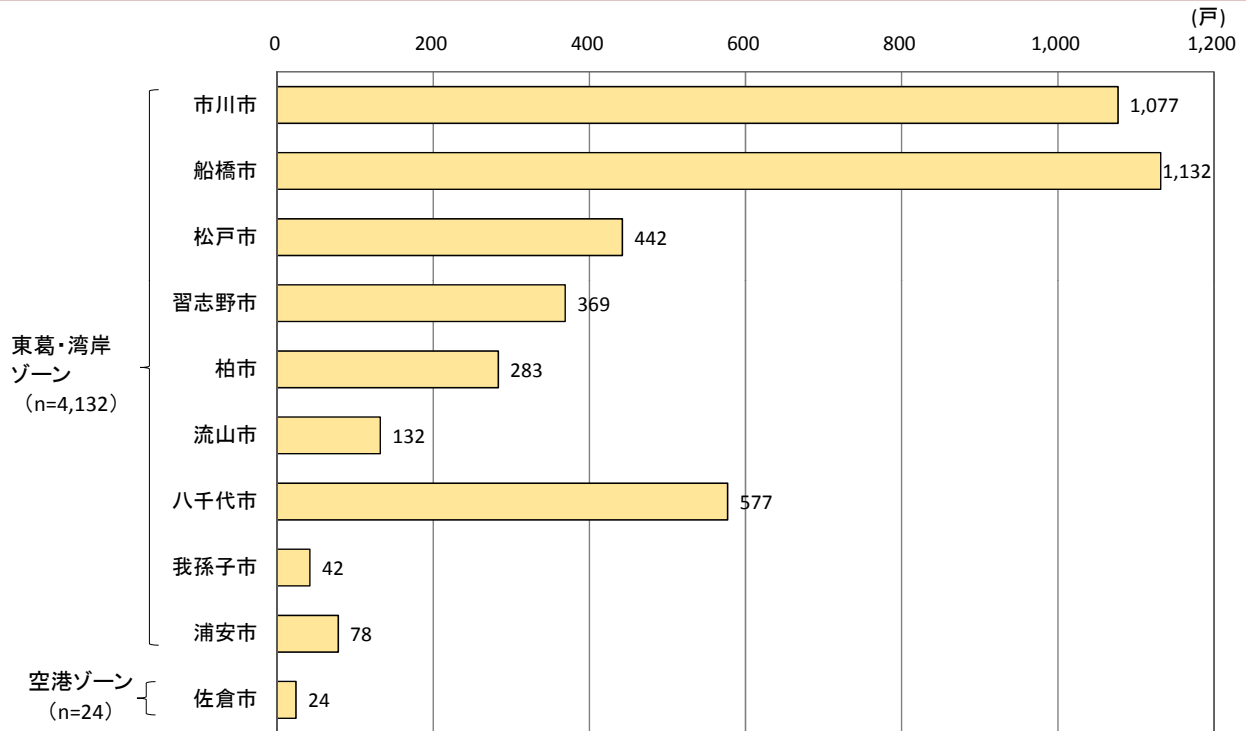
公社賃貸住宅団地一覧(千葉県)

所在地	団地名	事業期間	戸数
千葉市	海浜ニュータウン	昭和48年～	340
	白旗台	昭和44年	300
	轟町	昭和46年	32
成田市	成田ニュータウン	昭和45年～	400

出典：千葉県の住宅2014 千葉県住宅供給公社団地一覧(平成26年3月31日時点)

◇特定優良賃貸住宅は133団地、4,156戸(平成26年3月時点)。

◇ほぼ、東葛・湾岸ゾーンで供給されている。



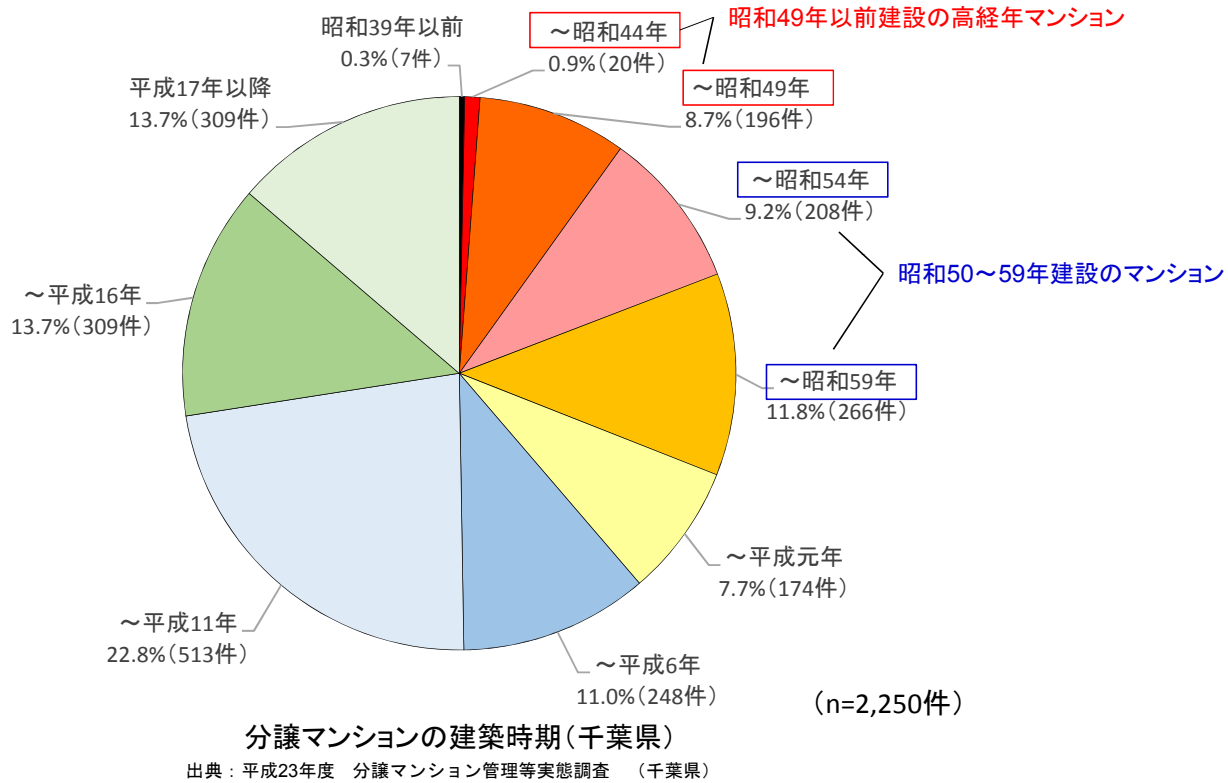
自治体別の特定優良賃貸住宅数(千葉県)

出典:千葉県の住宅2014 千葉県特定優良賃貸住宅一覧(平成26年3月31日時点)

2. 住宅事情

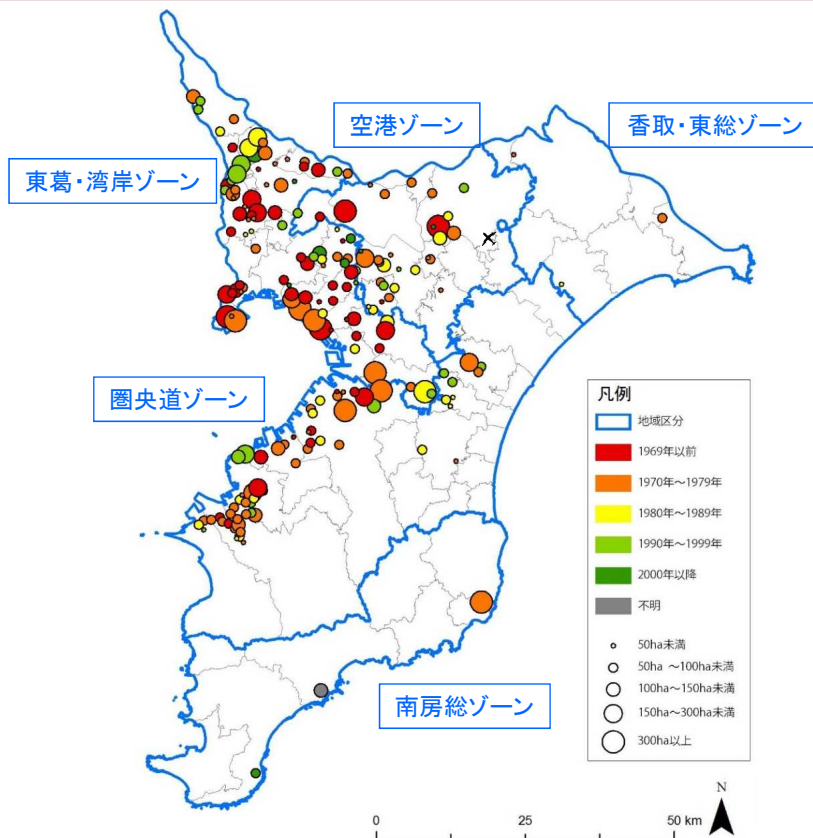
2-3. 分譲マンション・大規模開発団地・高齢者向け住宅

◇建設時期が昭和49年以前の高経年マンションは全体の1割。
 ◇ただし、昭和50～59年までのマンションも2割に上り、今後、高経年マンションが増加していく。



高度経済成長期に開発されたニュータウンが多数存在

◇高度成長期に開発のニュータウンが、東葛・湾岸、圏央道ゾーン湾岸部、空港ゾーン鉄道沿線に集中し分布。
 ◇交通利便性の低い圏央道ゾーン内陸部や南房総ゾーンにも、1970年代開発の大規模ニュータウンが立地。



大規模開発団地の分布 (千葉県)

出典：「土地総合情報ライブラリー 宅地供給・ニュータウン(平成25年度)」(国土交通省)

◇県内の高齢者向け住宅の供給状況は定員34,924人、高齢者人口に対する充足率2.35%(H27.7.1現在)。

◇制度創設に伴い、近年はサービス付き高齢者向け住宅を中心に供給が進んでいる。

高齢者向け住宅の供給状況 (H27.7.1現在)

施設種別	施設数	定員
有料老人ホーム	397	22,484
養護老人ホーム	23	1,446
軽費老人ホーム	97	4,161
サービス付き 高齢者向け住宅	191	6,629
シルバーハウジング	5	132
高齢者向け優良 賃貸住宅(県)	4	72
合計	717	34,924
	高齢者人口 (H26.4.1)	充足率
	1,487,511	2.35%

出典:千葉県健康福祉部、県土整備部

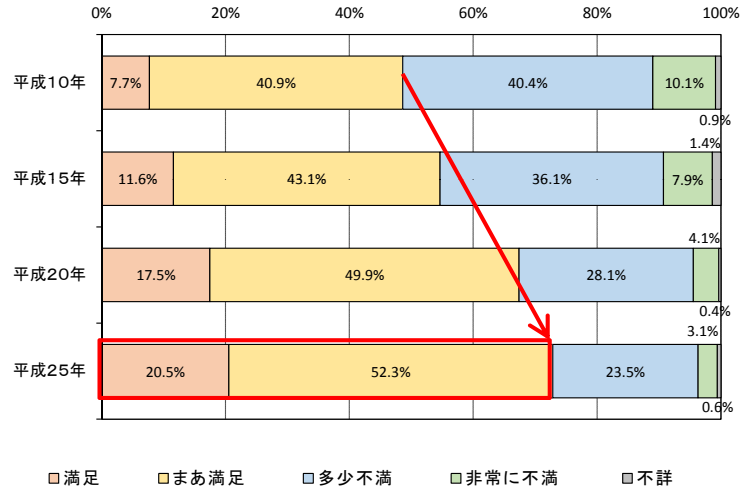
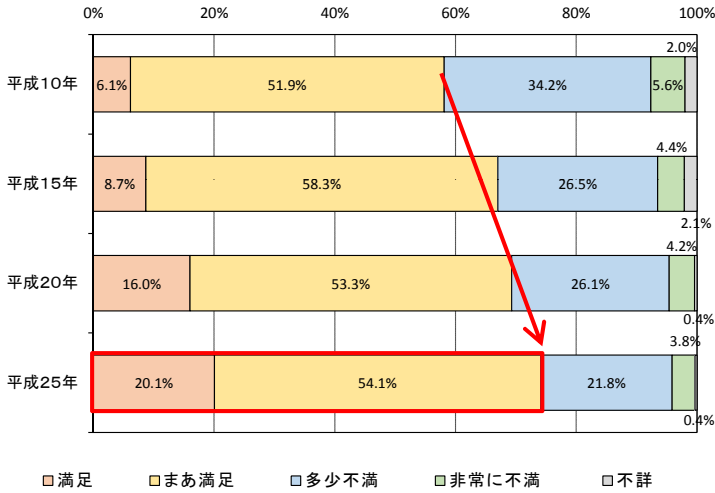
3. 住意識

住宅・住環境の満足度は上昇傾向

◇「住宅・住環境の総合的な満足度」は、年々高くなっており、平成25年調査では74.2%。

◇「住宅に対する満足度」も同様であり、平成25年調査では72.8%。

*平成25年調査の数値は、平成25年住生活総合調査の速報値



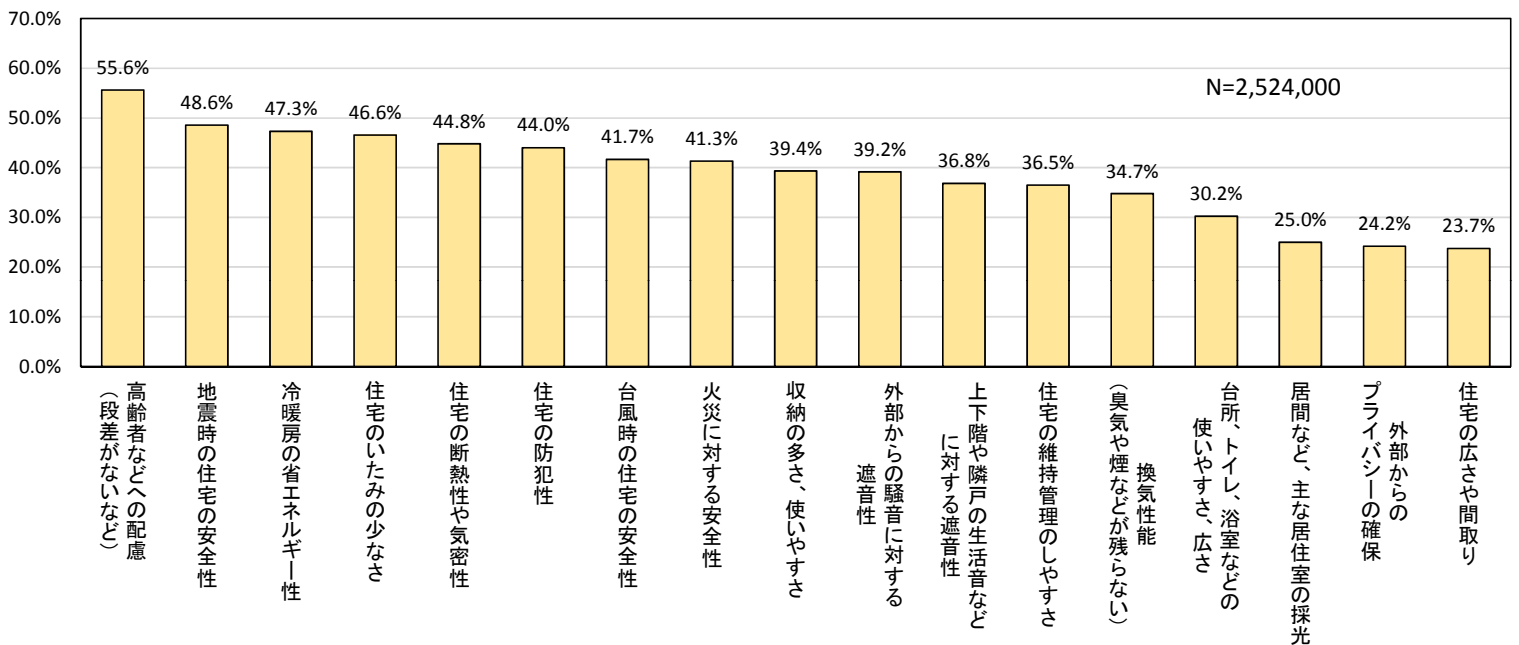
住宅・住環境に対する総合的な満足度の推移(千葉県)

住宅に対する満足度の推移(千葉県)

出典: 住宅需要実態調査(平成10年、平成15年)
住生活総合調査(平成20年、平成25年速報独自集計)

「高齢者などへの配慮」の不満率が高い

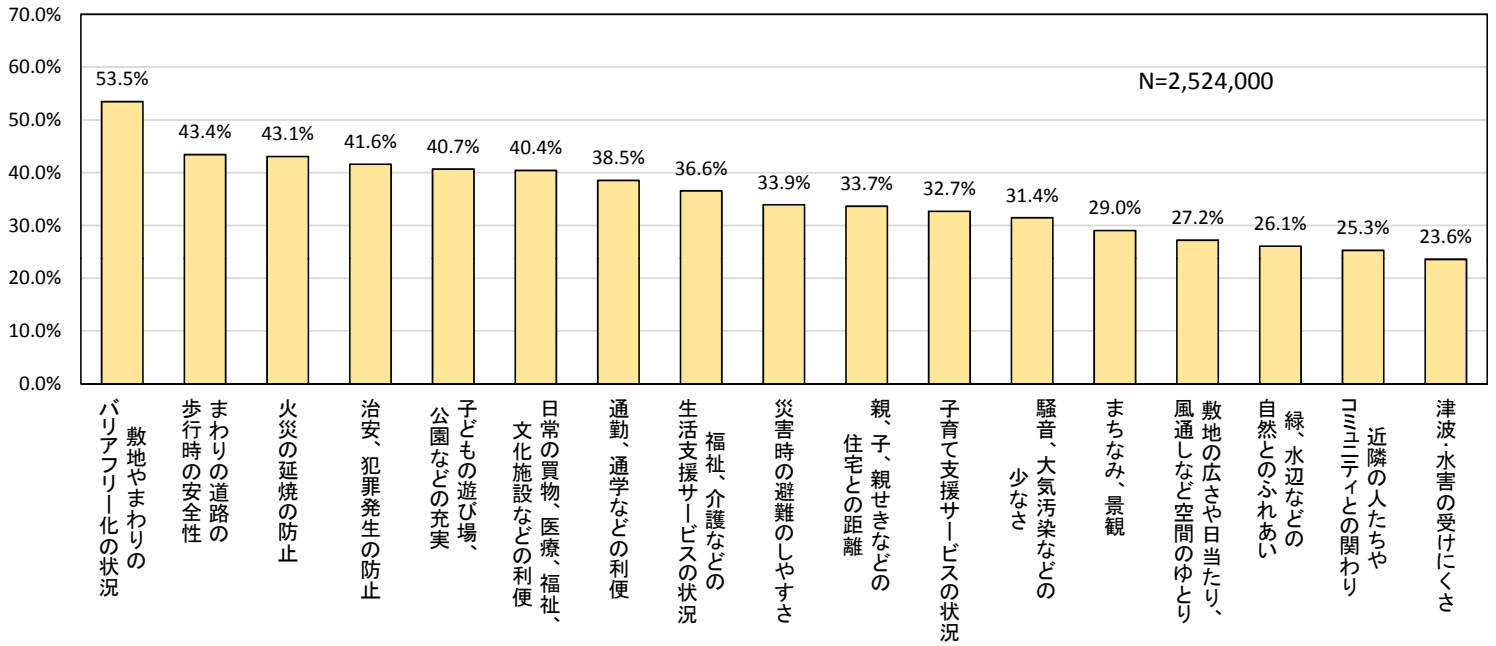
◇住宅の各要素別の不満率では、「高齢者などへの配慮」のみが、5割以上の不満率と高い。



住宅の各要素に対する不満率(千葉県)

出典: 住生活総合調査(平成25年速報独自集計)

◇住環境の各要素別の不満率では、「敷地やまわりのバリアフリー化の状況」のみが、5割以上の不満率と高い。



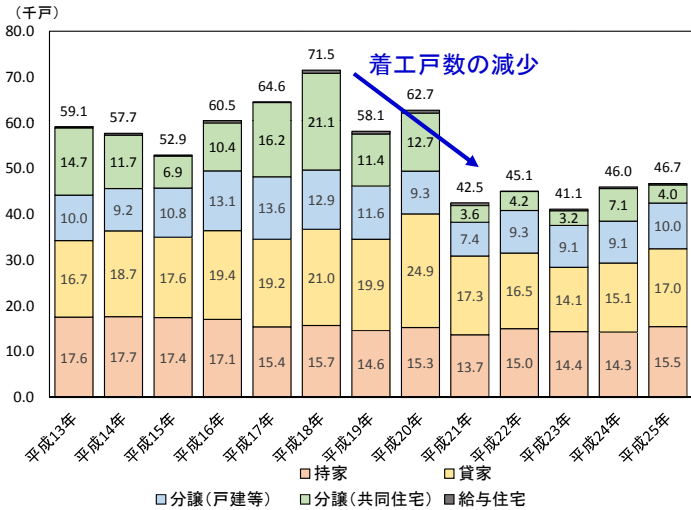
住環境の各要素に対する不満率(千葉県)

出典:住生活総合調査(平成25年速報独自集計)

4. 住宅市場の動向

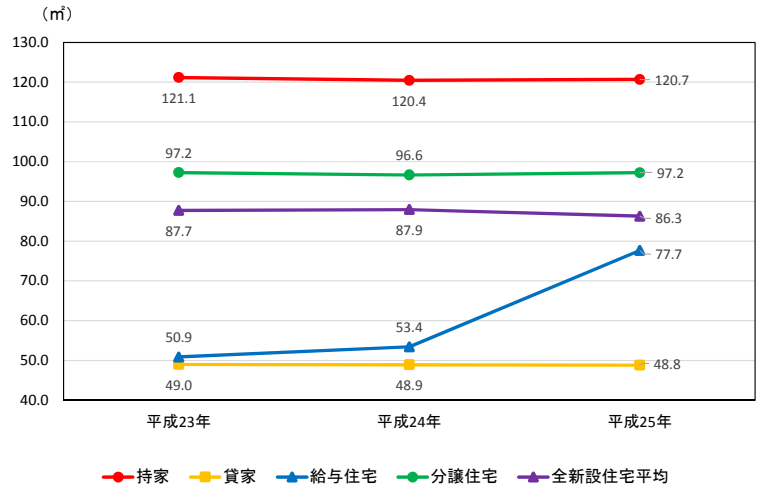
景気後退等に伴う新設着工戸数の大幅減少

◇景気後退に伴い、平成18年をピークに新設住宅着工戸数は減少。とくに平成21年以降は40千戸台で推移。
 ◇床面積について、持家は120㎡、分譲住宅は100㎡、貸家は50㎡程度で近年は横ばい傾向で推移。



利用関係別着工新設住宅数の推移(千葉県)

出典: 建築統計年報(平成13年~平成25年)

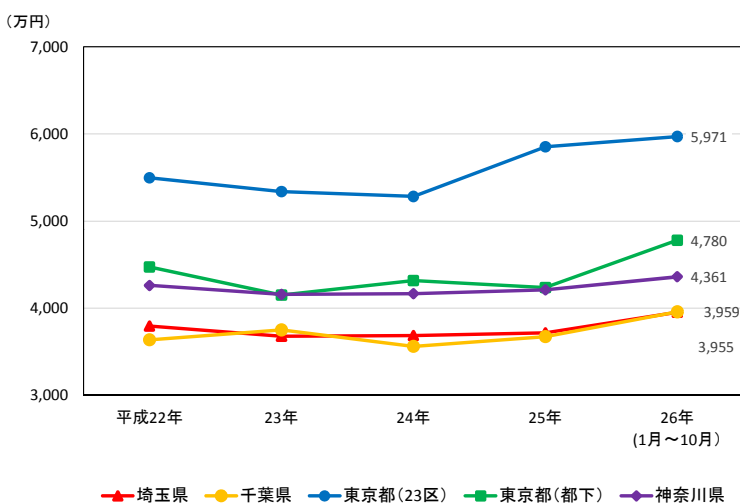


利用関係別着工新設住宅の平均戸当たり床面積(千葉県)

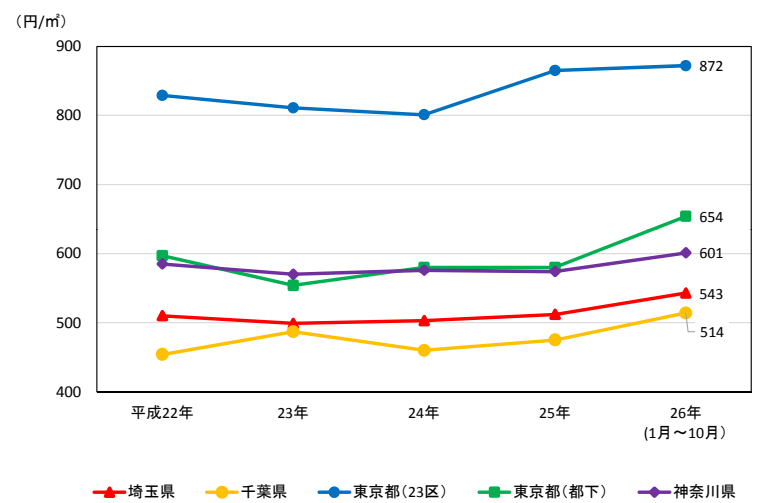
出典: 建築統計年報(平成23年~平成25年)

安価な分譲マンション

◇マンションの分譲価格は4,000万円を下回り、分譲単価も500円/㎡前後と、一都三県のなかで最も安価である。



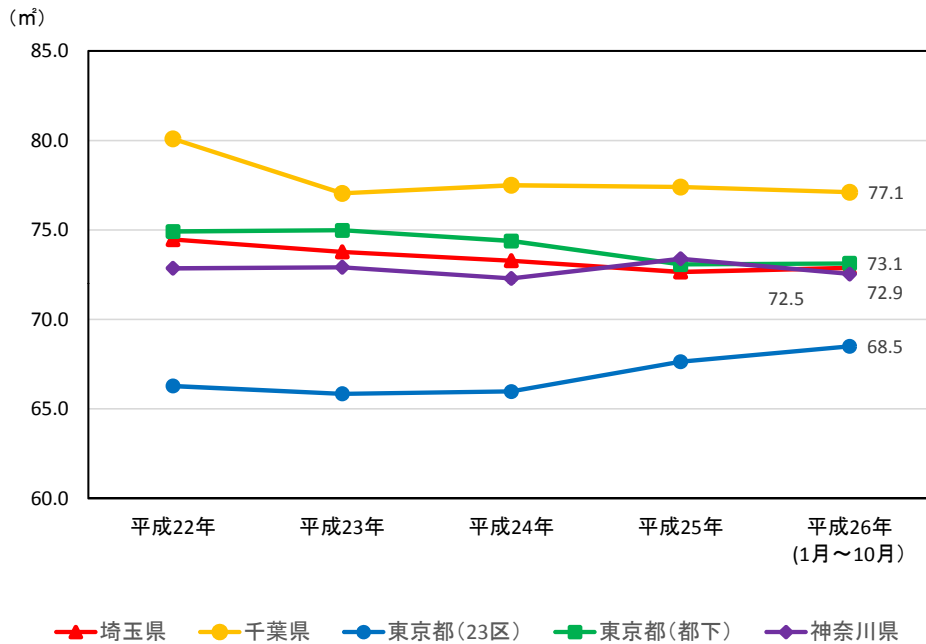
マンションの分譲価格の推移(一都三県)



マンションの1㎡当たり分譲単価の推移(一都三県)

出典: 長谷工CRI(平成22年~平成26年)

◇マンションは一都三県のなかで最も安価であり、かつ住宅規模も大きい(平均専有面積77.1㎡)。



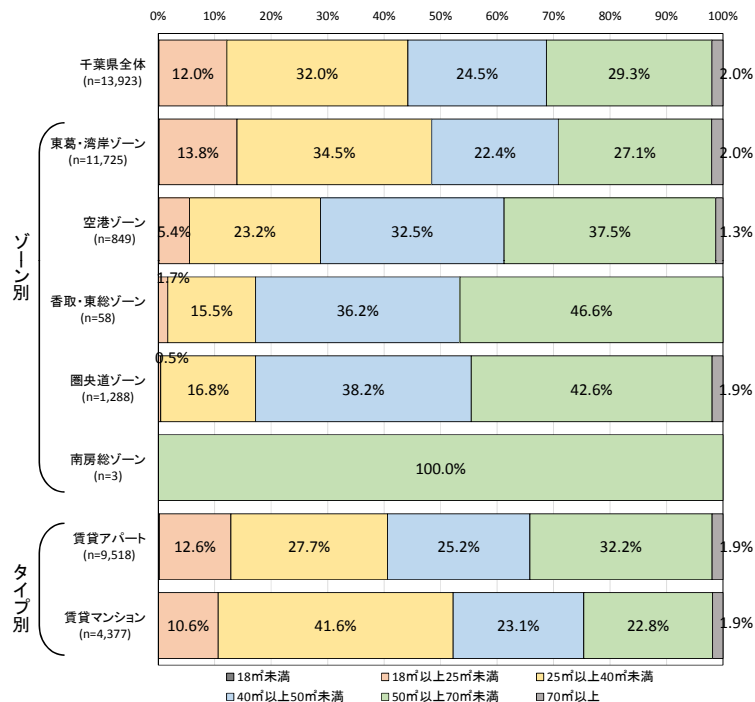
マンションの平均専有面積の推移(一都三県)

出典:長谷工CRI(平成22年~平成26年)

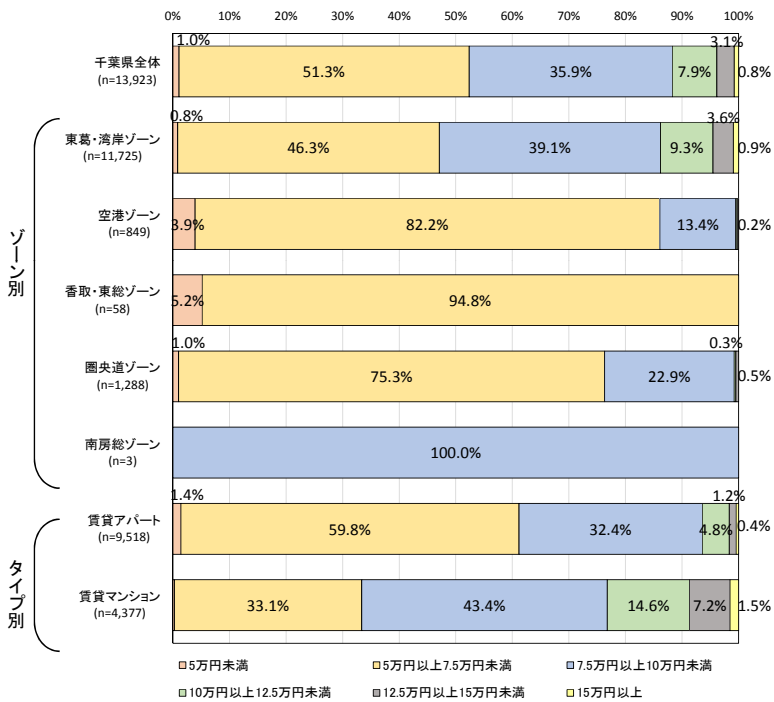
賃貸住宅はワンルームマンションが少なく、小家族世帯向けが主流

◇賃貸住宅の平均延床面積は41.7㎡。ワンルームマンションは少なく、小家族世帯向けが主流。

◇県全体の平均家賃は7.8万円、家賃単価は2,026円/㎡であり、家賃水準は低い。



賃貸住宅の延床面積(千葉県)



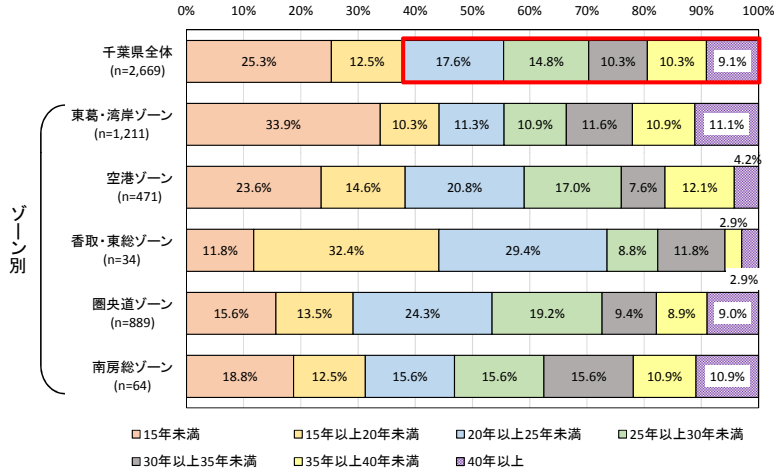
賃貸住宅の家賃(共益費を含む)(千葉県)

出典:不動産情報ホームページ「home's住宅情報」(http://www.homes.co.jp/)

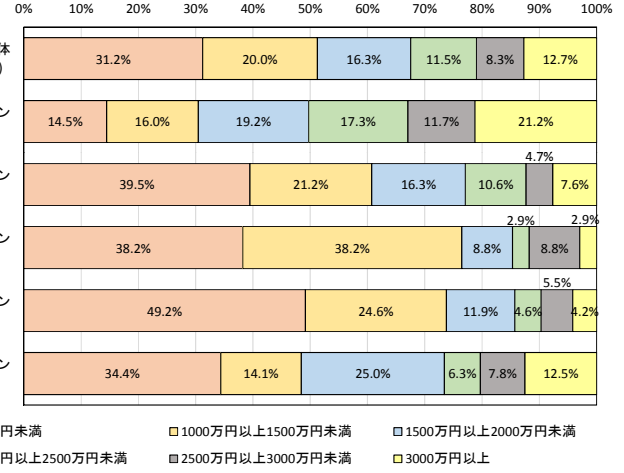
◇流通する中古戸建住宅のうち、築後20年以上の物件が全体の6割超を占める。

◇価格帯は、1,000万円未満が3割、次いで1,000～1,500万円未満が2割と、1,500万円未満で5割を占める。

築後20年以上



築後年数(千葉県)・戸建て



分譲価格帯(千葉県)・戸建て

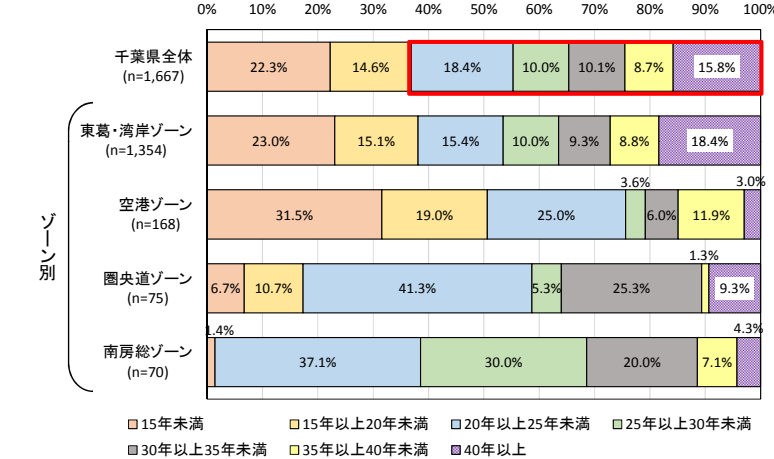
出典：不動産情報ホームページ「home's住宅情報」(http://www.homes.co.jp/)

東葛・湾岸ゾーンを中心に中古マンションが流通

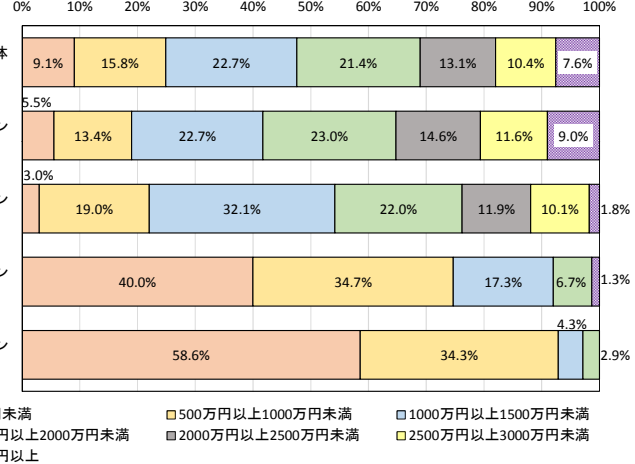
◇流通している中古マンションのうち、東葛・湾岸ゾーンの物件が8割を占める。

◇築後20年以上の物件が全体の6割超を占める。

築後20年以上



築後年数(千葉県)・中古マンション

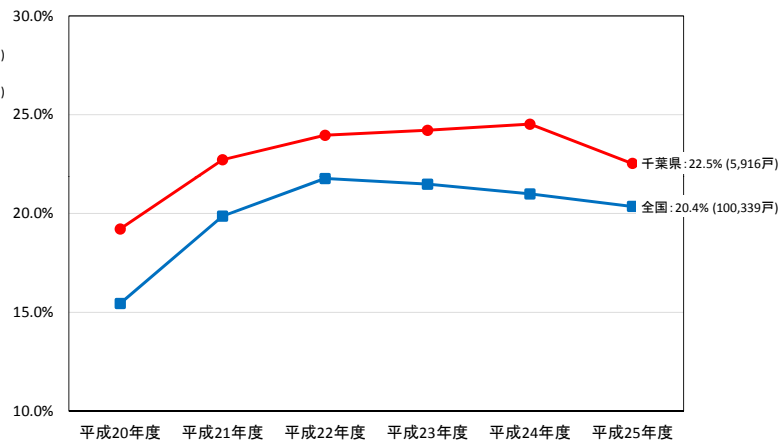
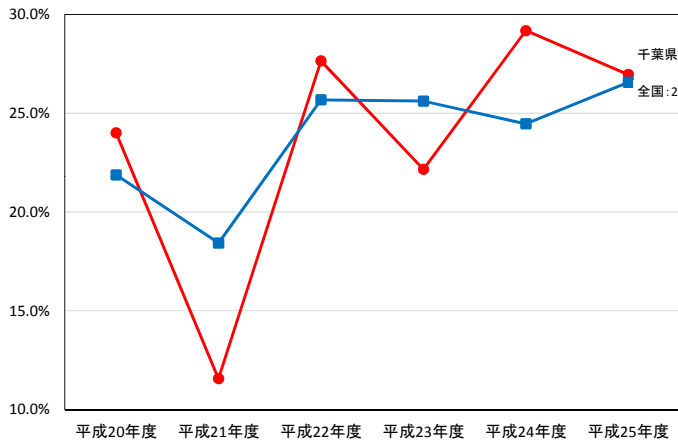


分譲価格帯(千葉県)・中古マンション

出典：不動産情報ホームページ「home's住宅情報」(http://www.homes.co.jp/)

◇新築共同住宅の性能表示実施率は、平成22年度以降20～30%で推移。

◇新築一戸建住宅の住宅性能表示実施率は22～24%で推移し、全国値の実施率に比べるとやや高い。



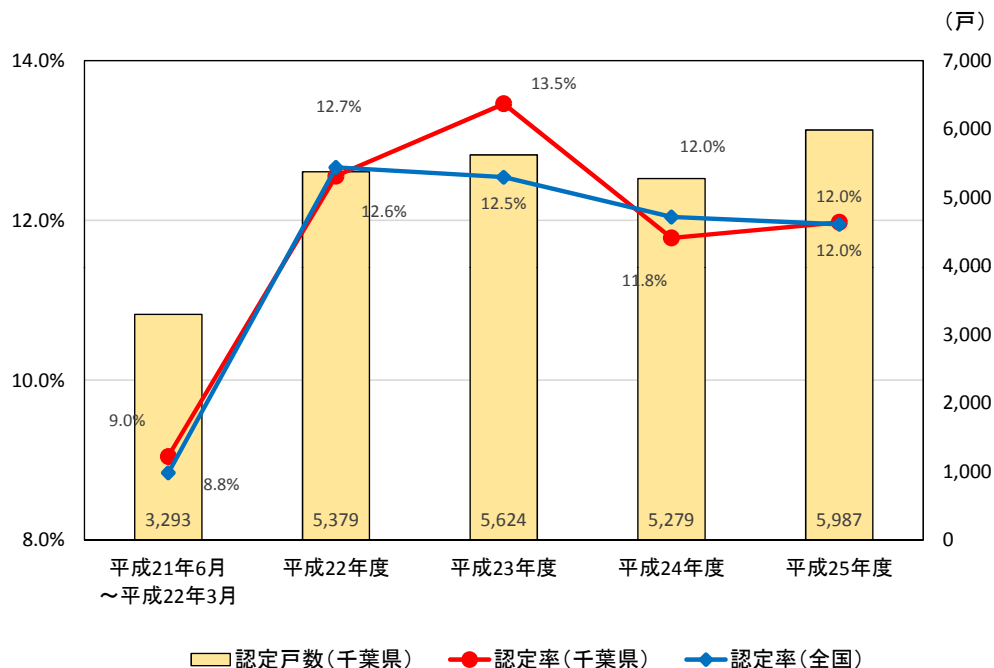
新築共同住宅の住宅性能表示実施率
(千葉県・全国)

新築一戸建住宅の住宅性能表示実施率
(千葉県・全国)

出典：一般社団法人住宅性能評価・表示協会(平成20年～平成25年)

新築住宅の長期優良住宅認定率は12.0%

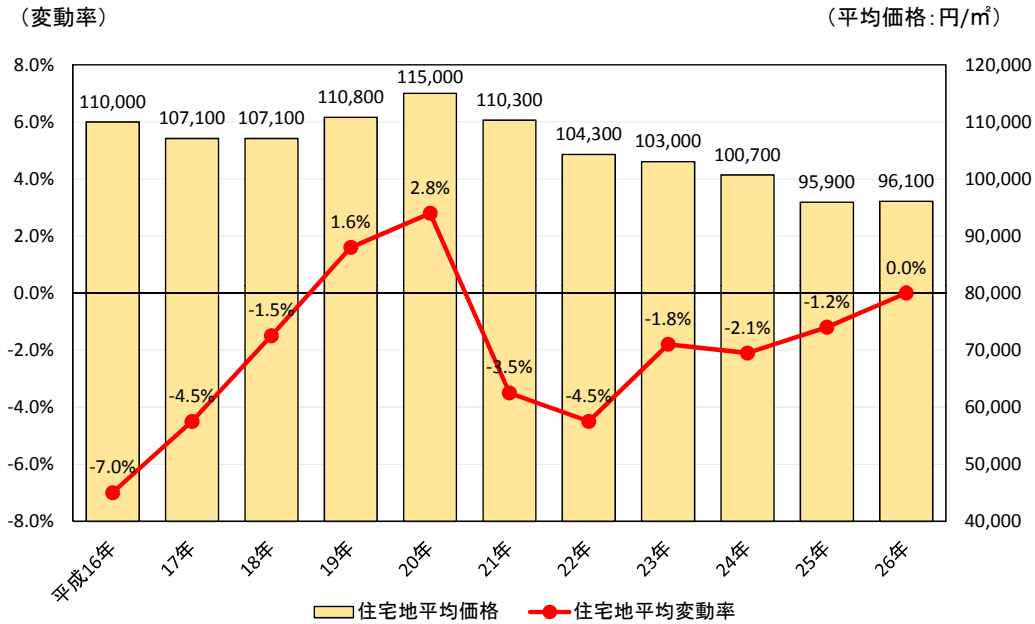
◇新築住宅の長期優良住宅認定率は12.0%(平成25年度現在)であり、平成22年度以降、認定戸数5,000戸台を維持。



新築住宅の長期優良住宅認定率(千葉県・全国)

出典：国土交通省住宅局住宅生産課(平成21年6月～平成22年3月、平成22年度～平成25年度)

◇住宅地の平均価格は下落傾向。(なお、主要市の住宅地平均価格も同様の傾向にある)



住宅地の平均価格及び変動率の推移(千葉県)

出典: 地価公示(平成16年～平成26年)

住宅関連相談は、公的賃貸住宅への入居申込関係が中心

◇住宅関連相談取扱いは平成25年度に1,368件。
 ◇主に、県営関係、市営、公社、UR都市機構住宅等の入居申込関係の相談が中心である。

住宅関連相談 取り扱い件数の推移

年度	平成15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
総数	2,904	1,989	912	915	1,054	1,435	1,329	1,286	1,251	1,226	1,368
県営関係	説明	831	376	143	86	135	209	199	154	221	218
	申込書	319	448	104	240	30	51	128	121	152	136
	管理等	55	14	4	7	12	12	3	5	11	27
市営	相談	243	171	73	195	102	180	173	108	136	131
	申込書					17	28	116	96	90	103
公社関係	説明	16	15	74	30	156	248	175	116	97	120
	配布	0	4	15	2	70	67	32	16	14	3
UR都市機構住宅	説明	86	41	22	28	68	130	111	112	97	135
	配布	29	9	6	13	9	23	15	21	21	12
一般特優賃	説明	55	32	30	13						
	申込書	2	0	1	0	26	28	18	35	36	41
高優賃					28	45	37	36	17	19	30
住宅	42	50	47	20	59	91	38	39	13	6	36
宅地	28	10	29	11	38	43	26	16	6	3	12
公庫	6	3	2	1	8	1	0	3	1	2	1
利子補給	17	3									
耐震			11	2	20	13	2	6	12	6	5
賃貸借	75	52	17	11	19	30	35	83	59	48	59
不動産	61	42	37	6	18	17	14	14	2	3	12
建築基準法	52	23	9	3	11	5	1	4	4	1	1
法律	32	27	26	5	43	51	32	38	28	15	31
税金	3	3	11	4	5	2	1	4	6	1	3
マンション管理	295	285	184	199	109	119	153	144	115	105	127
リフォーム			62	20	43	38	15	37	40	22	43
雑件・その他	454	259	5	18	28	4	5	78	73	69	38
宅建願書配布	203	122									

出典: 千葉県県土整備部住宅課(平成15年度～平成25年度)

千葉県の住宅・住環境を取り巻く動向

おわり